

TOSHIBA

REGZA

レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクプレーヤー取扱説明書

形名 DBP-S600



AVCREC™

AVCHD™

BONUS VIEW™



x.v.Color



DOLBY AUDIO™

お客様登録サービス「Room1048」に登録をお願いします！

ルームトウンパ

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ お客様登録は、Web 限定のサービスです。

>>> ご登録はこちらから！ <<<

<http://toshibadirect.jp/room1048/>

※キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

❑ 電源を「入」にしたとき

電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。

❑ 本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…

「症状に合わせて解決法を調べる」**50**、「総合さくいん・用語解説」**61**をご覧ください。

❑ 必ず最初に「安全上のご注意」**4**をご覧ください。

❑ このたびは東芝ブルーレイディスクプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのブルーレイディスクプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

はじめに

準備する

再生する

ネットワークを使う

さまざまな設定や情報

はじめに 2

お使いになる前に.....	3
本書で使用するマークの意味.....	3
付属品を確認する.....	3
安全上のご注意.....	4
各部のなまえとはたらき.....	8
本機前面.....	8
本機背面.....	8
リモコン.....	8

準備する 9

本機をテレビやAVアンプとつなぐ.....	9
テレビとつなぐ.....	9
AVアンプとつなぐ.....	9
リモコンを準備する.....	10
リモコンに電池を入れる.....	10
本機の映像をテレビで見る.....	11
はじめての設定をする.....	12
メディアを用意する.....	16
ディスクを入れる.....	16
USB機器を接続する.....	16
画面表示の見かた.....	17
スタートメニュー.....	17
タイトル(トラック・ファイル)リスト.....	17

再生する 18

再生する.....	18
ディスクの映像を再生する.....	18
SDカードから映像を再生する.....	19
ディスクの音楽を再生する.....	19
再生開始位置について.....	19
写真や絵を再生する(スライドショー).....	20
ディスクの写真や絵を再生する.....	20
USB機器の写真や絵を再生する.....	21
再生するとき便利な機能.....	22
速度を変えて再生する.....	22
見たい/聞きたいところまでとばす.....	22
時間を指定してとばす.....	23
繰り返して見る.....	23
音声、字幕、カメラアングルを切り換える.....	24
BD-Videoの子画面を切り換える.....	25
再生映像のノイズを低減する.....	25
再生映像の画質を鮮明な画質に補正する.....	25

ネットワークを使う 26

ネットワークを接続する.....	26
LANケーブルを使って接続する.....	26
無線LANアダプター(別売)を使って接続する.....	27
ネットワークを設定する.....	28
LANケーブルで接続しているときの設定.....	29
無線LANアダプター(別売)を接続しているときの設定.....	32
ネットワークを使う.....	34
ホームネットワークを使って再生する.....	34
バーチャル・パッケージを使う.....	35
タイムシフト過去番組表を表示する.....	36
タイムシフト過去番組表を便利に使う.....	37
ざんまいプレイを表示する.....	38
ざんまいプレイを便利に使う.....	38

さまざまな設定や情報 39

レグザリンク・コントローラを使う.....	39
本機やUSBメモリーを初期化(フォーマット)する... ..	40
視聴可能年齢を設定する.....	41
ブルーレイディスクの再生を制限する.....	41
BD-Live™の再生を制限する.....	41
DVDの再生を制限する.....	41
インターネットを制限する.....	41
パスワードを変更・初期化する.....	42
パスワードを変更する.....	42
パスワードを初期化する.....	42
ソフトウェアを更新する.....	43
最新のソフトウェアをダウンロードする.....	43
メディアやフォーマットについて.....	44
再生できるメディア.....	44
再生できるフォーマットについて.....	44
USB機器について.....	45
SDカードについて.....	45
タイトル・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて.....	45
いろいろな設定を変える.....	46
【本体設定】を使う.....	46
【本体設定】の項目と設定内容.....	46
本機の機能について.....	49
症状に合わせて解決法を調べる.....	50
おかしいな?と思ったときの調べかた.....	50
音声出力について.....	54
言語コード一覧.....	55
使用上のお願い.....	56
参考資料.....	59
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報... ..	59
仕様.....	60
総合さくいん・用語解説.....	61
商品の保証とアフターサービス.....	63

お使いになる前に

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのプレーヤー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「総合さくいん・用語解説」**61**をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
- インターネットによるオンライン登録にご協力ください。
(インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス <http://toshibadirect.jp/room1048/>)

本書で使用するマークの意味

● ヒントアイコン

操作するときに役立つ内容などのお知らせです。



機能などの補足説明、参考にさせていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



取扱上のご注意を記載しています。



関連する内容が記載されているページの番号を記載しています。

付属品を確認する

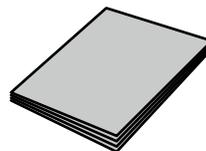
リモコン / 1個



単四形乾電池 (R03) / 2本



取扱説明書 / 1部



安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	「取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること」を示します。
 注意	「取扱いを誤った場合、人が軽傷(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	「  」は、 禁止 (してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	「  」は、 指示 する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	「  」は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

次のときは、ただちに電源プラグを抜く

- 煙が出ていたり、異臭がするとき
- 内部に水や異物がはいったとき
- 落としたり、キャビネットを破損したとき
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したまま取り扱っていると、けがのおそれがあります。



設置するとき

<p>電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する</p> <p>交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。</p>  <p>指示</p>	<p>本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する</p> <p>万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。</p>  <p>指示</p>
<p>ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない</p> <p>本機が落ちて、けがの原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>  <p>風呂、シャワー室での使用禁止</p>
<p>上にものを置かない</p> <p>金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。</p>  <p>引っ張り禁止</p>	

使用するとき

<p>電源コードは</p> <ul style="list-style-type: none"> • 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない • 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない • 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>火災・感電の原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>修理・改造・分解はしない</p> <p>火災・感電の原因となります。点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p>  <p>分解禁止</p> <p>ディストレイなどから本機内部に異物を入れない</p> <p>金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様がいるときにはご注意ください。</p>  <p>異物挿入禁止</p>
<p>雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>  <p>接触禁止</p>	<p>可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない</p> <p>清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>電池は乳幼児の手の届かない所に置く</p> <p>誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。</p>  <p>指示</p>	<p>トレイ開閉口の前にもものを置かない</p> <p>トレイが開いた時に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。</p>  <p>禁止</p>

安全上のご注意・つづき

警告

お手入れ

定期的に電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。
(電源プラグは待機状態のときに抜いてください。)



指示

注意

設置するとき

風通しの悪い場所に置かない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。



禁止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

高い場所に設置しない

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。



禁止

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



禁止

本機に接続するケーブルは正しく接続する

正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。



指示

注意

使用するとき

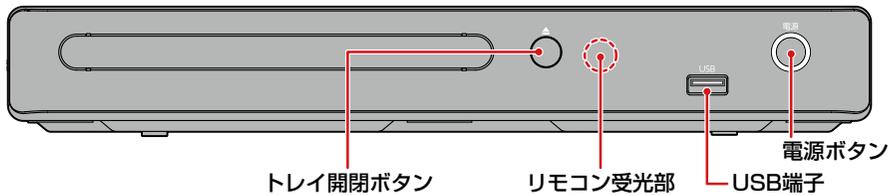
<p>移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす</p> <p>電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。</p>  <p>指示</p>	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない</p> <p>電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。</p>  <p>引っ張り禁止</p>
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを抜け</p>
<p>電源を入れる前には音量を最小にする</p> <p>電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。</p>  <p>指示</p>	<p>テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない</p> <p>音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。</p>  <p>禁止</p>
<p>ディスクトレイに、手を入れない</p> <p>指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいらっしゃる際にはご注意ください。</p>  <p>禁止</p>	<p>ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない</p> <p>ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>  <p>禁止</p>
<p>リモコンに使用している乾電池は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定以外の乾電池は使用しない 極性〔(+)と(-)〕を間違えて挿入しない 充電・加熱・分解したり、ショートさせたり、火の中に入れない 乾電池に表示されている〔使用推奨期限〕を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない <p>これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>  <p>禁止</p>	



- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは、「使用上のお願い」56頁も同様に、必ずお読みください。

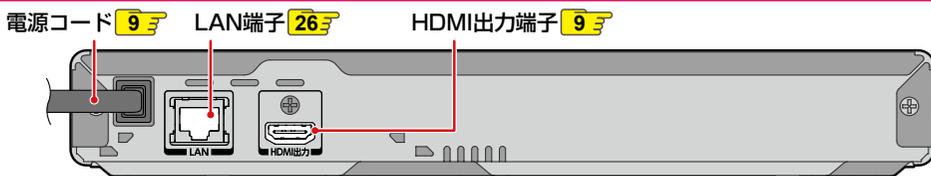
各部のなまえとはたらき

本機前面



- USB端子にはUSB機器や無線LANアダプター以外の機器(パソコンや外付けハードディスクなど)を接続しないでください。
- USB機器を接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。

本機背面



- 端子部に手をふれないでください。
- 本機にアンテナ端子はありません。

リモコン

スタートメニューを表示する

ディスクトレイを開く／閉じる

タイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、番組表形式(過去番組表)で表示する*

方向ボタン: 選ぶ
決定ボタン: 決定する

1つ前の画面に戻る

操作画面などで使用する

再生や再生中の操作で使用する

チャプター番号を入力する
数字を入力する

見たい場面までとばす

再生中のメディアに関する情報を表示する

リモコン発光送信部



本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

本機のリモコン受光部



本機の電源を入れる／切る

ディスクメニューを表示する

サブメニューを表示する

ざんまいプレイ配信対応機器のざんまいプレイリストを表示する*

音声を切り換える

字幕を切り換える

リピート再生を切り換える

* を押して表示される過去番組表は、事前にタイムシフトマシン対応機器との接続・設定が必要となります。詳しくは「タイムシフト過去番組表を表示する」[36](#)をご覧ください。

* を押して表示されるざんまいプレイリストは、事前にざんまいプレイ配信対応機器との接続・設定が必要となります。詳しくは「ざんまいプレイを表示する」[38](#)をご覧ください。



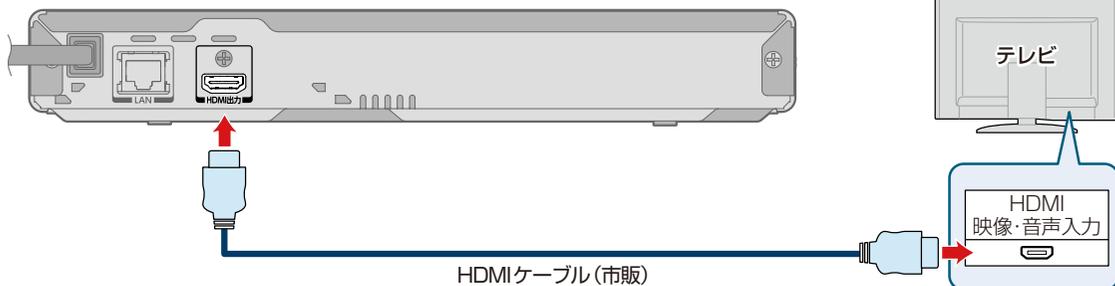
- 乾電池の入れかたは [10](#) をご覧ください。

本機をテレビやAVアンプとつなぐ

テレビとつなぐ

- HDCPIに対応していないテレビに接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。

本機背面



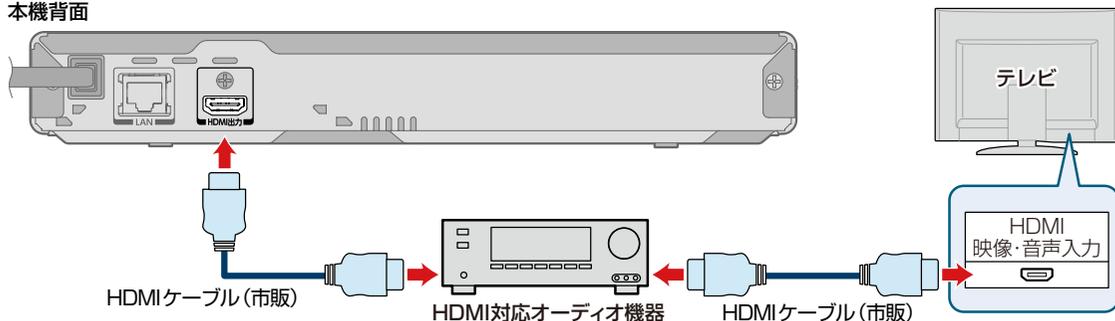
【接続確認済みHDMIケーブルについて】 2015年10月現在

- オーディオテクニカ HDMIケーブル AT-HMHシリーズ
 - JVCケンウッド HDMIケーブル Eシリーズ
- ※ 当社のテレビとの接続動作を確認しておりますが、すべてのケーブルでの動作を保証するものではありません。最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

AVアンプとつなぐ

- 7.1ch等のマルチスピーカー対応のアンプと接続すると、映画館のような臨場感溢れる音声を聞くことができます。また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD[®]の各音声を出力できるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。(この接続をした場合、テレビから音声がでないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機とHDMI対応アンプなどを接続したときは、準備完了後、接続した機器に合わせて【本体設定】→【HDMI設定】→【音声出力設定】の設定を変更してください。

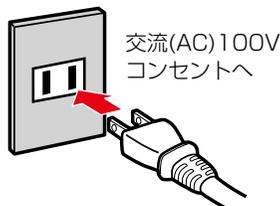
本機背面



注意

- ケーブルは傾けずに、まっすぐ差し込んでください。
- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、プラグの大きさや形状によって接続できないことがあります。

電源プラグをつなぐ



注意

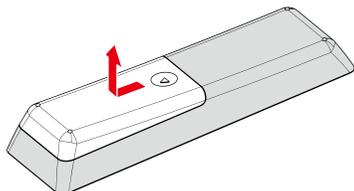
- 他のすべての接続が完了してから、電源プラグを、交流(AC)電源コンセントに差し込んでください。

- 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

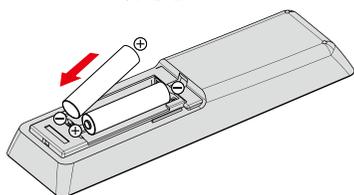
1 リモコン裏面のふたをはずす



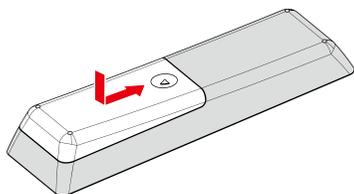
2 ⊖側を先に入れたあと、⊕側を入れる

電池は以下の単四形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。

- ・マンガン乾電池
- ・アルカリ乾電池

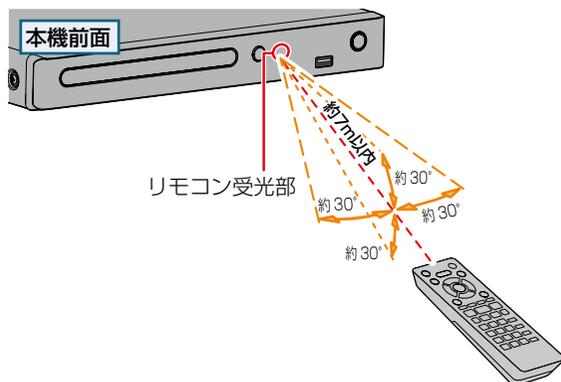


3 裏面のふたを取り付ける



- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - ・リモコンの使用距離が短くなってきたとき
 - ・一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池(ZR6)、エボルタ乾電池(LR6)などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例にしたがって処理してください。

リモコンの使用範囲について



距離・・・本機正面より7m以内

角度・・・本機正面より上下左右 約30°以内(5m以内)



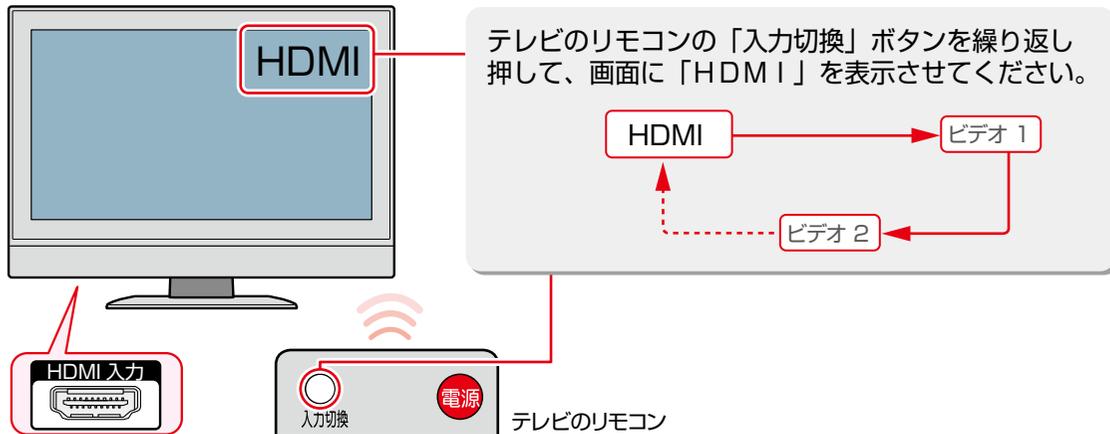
- リモコンの受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンを使うときは以下にご注意ください。
 - ・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
 - ・水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

本機の映像をテレビで見る

1 テレビの電源を入れる

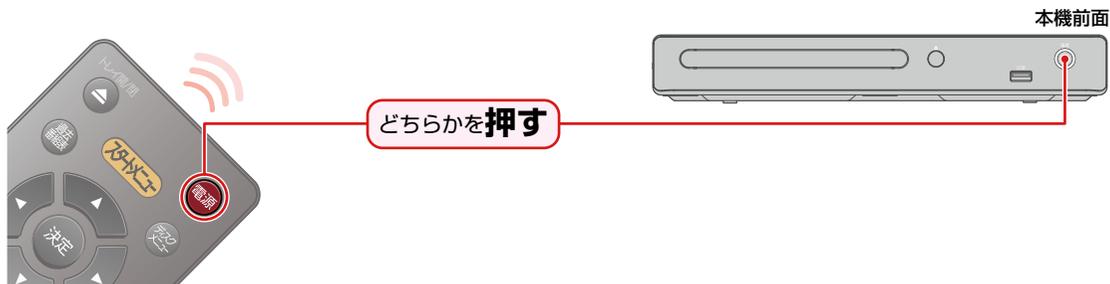
2 テレビの入力切換で、テレビの入力を「HDMI」に切り換える

- テレビのリモコンで切り換えます。



3 本機の電源を入れる

- 電源を切るときも同じ操作です。

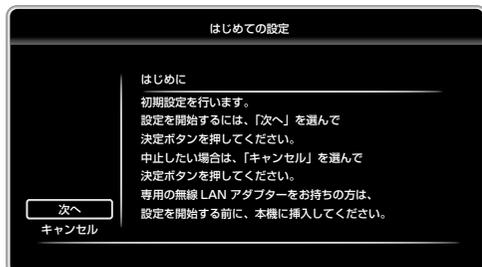


- 以下の画面が表示されます。(画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。)



以下の画面が表示されたときは

【はじめての設定】を行ってください。12



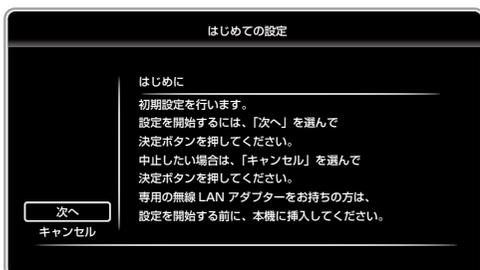
はじめての設定をする

接続が終わって初めて電源を入れたときは、テレビ画面に【はじめての設定】画面が表示されます。画面の案内やガイドにしたがって設定してください。

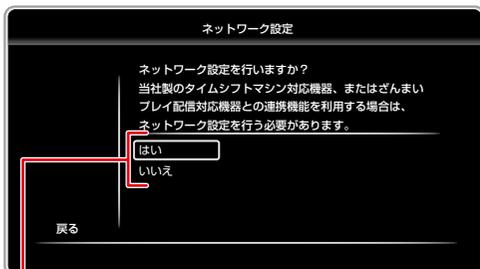
ネットワークを利用するときは

あらかじめ本機をネットワークに接続してください。26

1 以下の画面が表示されたら、▲・▼で【次へ】を選んで決定を押す



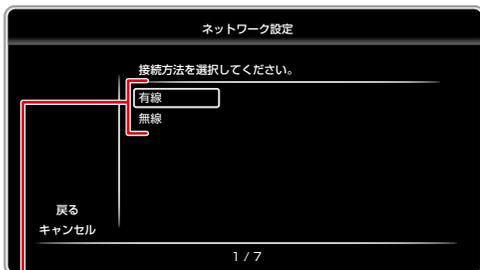
2 ▲・▼でネットワークを設定するかしないかを選んで決定を押す



はい： 手順3へ進んでください。

いいえ： 手順7へ進んでください。

3 ▲・▼で【有線】または【無線】を選んで決定を押す



有線： LANケーブルを使ってネットワークを接続します。接続や設定については、本ページ「【有線】を設定する」をご覧ください。

無線： 無線LANアダプター(別売)を使ってネットワークを接続します。接続や設定については、「【無線】を設定する」13をご覧ください。

【有線】を設定する

▲・▼で「自動」か「手動」を選んで決定を押してください。

【自動】を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【次へ】を選んで決定を押してください。

【手動】を選んだときは

- 以下の画面が表示されたら、パソコンを確認して、それぞれの項目を設定してください。
- 1～0を押して、数値を入力してください。



IPアドレス： パソコンなどに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。

サブネットマスク： パソコンと同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ： パソコンと同じ数値を入力してください。

プライマリDNS： パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

セカンダリDNS： パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

- すべての項目を入力し終わったら、【次へ】を選んで決定を押してください。

① ▲・▼でプロキシサーバーを使用するかしないかを選んで **決定** を押す

【はい】を選んだときは

手順②へ進んでください。

【いいえ】を選んだときは

手順④へ進んでください。

② プロキシアドレスを入力する



- ▲・▼・◀・▶を使って入力してください。(数字はリモコンの1～0でも入力できます。)
- 赤**を押すと、前の画面に戻ります。
- 緑**を押すと、入力された文字を削除します。
- 黄**を押すと、小文字/大文字/特殊文字(@!/?など)を切り換えることができます。
- 入力し終わったら、**青**を押してください。

③ プロキシポート番号を入力する

- 1～0を押して、数値を入力してください。
- 入力し終わったら、**OK**を選んで **決定** を押してください。

④ 接続テストをする

- 【はい】**を選んで **決定** を押すとネットワークが正しく接続されているか、テストが始まります。
- テスト結果が表示されたら、**【次へ】**を選んで **決定** を押してください。

お知らせ

- パソコンに設定されている数値を確認するには「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定変更」→「ローカルエリア接続」→「プロパティ」→「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」からご確認ください。(Windows® 7の場合)
- OSの種類が異なるなどの場合、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

【無線】を設定する

▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押してください。

【無線LAN自動検出】を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して設定します。

① ▲・▼で無線LANアクセスポイントを選んで **決定** を押す

アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは

手順②へ進んでください。

アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは

手順③へ進んでください。

② セキュリティキーを入力してください。

- 入力し終わったら、**青**を押してください。

③ ▲・▼で【次へ】を選んで **決定** を押す

④ ▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押す

【自動】を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、**【次へ】**を選んで **決定** を押してください。

【手動】を選んだときは

各項目を設定してください。

- 「**【有線】を設定する**」の「**【手動】を選んだときは**」をご覧ください。**12**

【手動設定】を選んだときは

設定に必要な各項目を手動で設定します。

① SSIDを入力して、**青**を押す

② ▲・▼でセキュリティを選んで **決定** を押す

アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは

手順③へ進んでください。

アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは

手順④へ進んでください。

③ セキュリティキーを入力して、**青**を押す

④ ▲・▼で【次へ】を選んで **決定** を押す

⑤ ▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押す

【自動】を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、**【次へ】**を選んで **決定** を押してください。

【手動】を選んだときは

各項目を設定してください。

- 「**【有線】を設定する**」の「**【手動】を選んだときは**」をご覧ください。**12**

はじめての設定をする・つづき

【かんたん接続設定(WPS)]を選んだときは

かんたんに無線LANを設定します。

プッシュボタン方式(PBC)

無線LANアクセスポイントの設定については、東芝の無線LANアダプター(別売：D-WL1)の取扱説明書をご覧ください。

① 無線LANアクセスポイントの所定のボタンを押す

- ボタンの名称は、無線LANアクセスポイントによって異なります。
- 所定のボタンを押したあと、2分以内に手順②を行ってください。

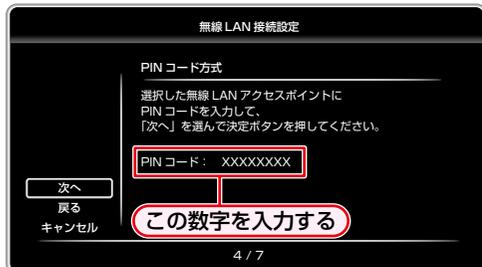
② ▲・▼で【プッシュボタン方式(PBC)]を選んで決定を押す

- 自動的に各項目が設定され、ネットワークの設定が完了します。

PINコード方式

① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで決定を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



- 詳しい設定は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

③ ▲・▼で【次へ]を選んで決定を押す

- 自動的に各項目が設定され、ネットワークの設定が完了します。

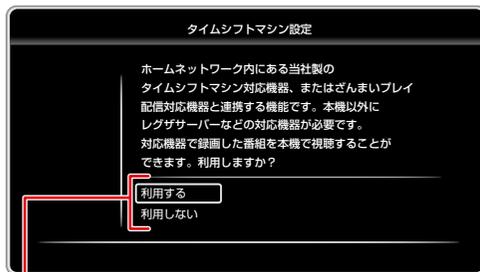
ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【次へ】を選んで決定を押してください。



- 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定が「WEP」の場合、【かんたん接続設定(WPS)]で設定することができません。
- 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定を「TKIP」または「AES」に変更してください。(詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)

4

▲・▼でタイムシフトマシン連携機能を利用するかしないかを選んで決定を押す



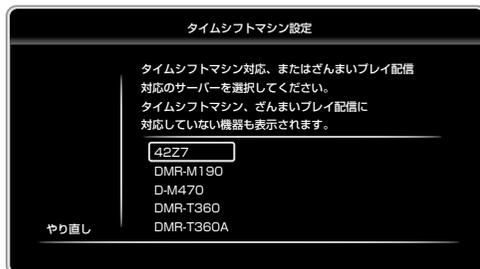
利用する： タイムシフトマシン連携機能を利用します。手順5へ進んでください。

利用しない： タイムシフトマシン連携機能を利用しません。手順7へ進んでください。

- 【利用する】を選ぶと、ネットワーク内の当社機器の検索が始まります。

5

▲・▼で対応機器を選んで決定を押す

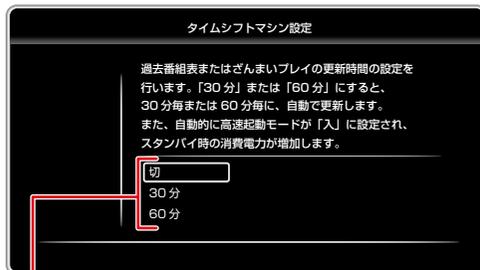


- 登録が完了すると確認画面が表示されるので、決定を押してください。

- 対応機器によっては、対応機器側の設定により、本機に登録できない場合があります。その場合は、対応機器側のネットワーク連携設定の内容を確認してください。

6

▲・▼で過去番組表、ざんまいプレイの更新時間を選んで決定を押す



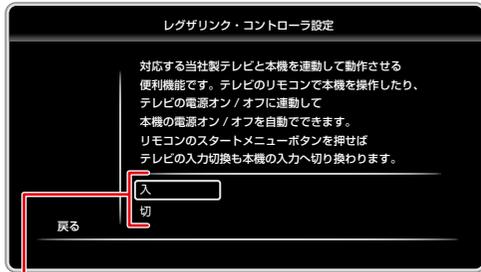
切： 過去番組表、ざんまいプレイを自動的に更新しません。

30分： 過去番組表、ざんまいプレイが30分毎に自動的に更新されます。

60分： 過去番組表、ざんまいプレイが60分毎に自動的に更新されます。

- 【30分】または【60分】を選ぶと、自動的に【高速起動モード】が【入】に設定され、待機時の消費電力が増えます。

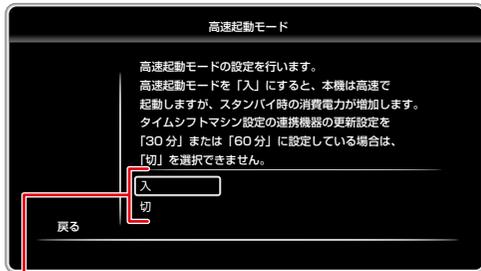
7 ▲・▼で【入】または【切】を選んで決定を押す



入： テレビと本機の動作が連動する機能を利用します。

切： リンク機能は利用しません。

8 ▲・▼で【入】または【切】を選んで決定を押す

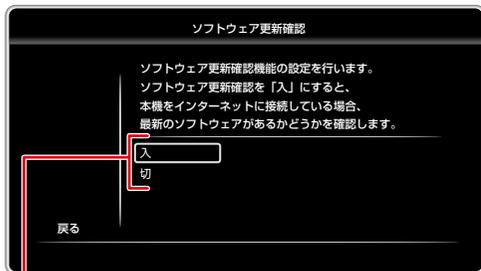


入： 高速で起動しますが、【切】時に比べて待機時の消費電力が増えます。

切： 起動するのに時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

- 手順6で過去番組表の更新時間を【30分】または【60分】に設定した場合、【切】を選ぶことはできません。

9 ▲・▼で【入】または【切】を選んで決定を押す



入： 本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。

切： 最新のソフトウェアがあるかどうかを確認しません。

10 ◀▶で【はい】または【いいえ】を選んで決定を押す



はい： 本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアに更新できるか確認します。手順11へ進んでください。

いいえ： ソフトウェアの更新を確認せず、【はじめての設定】が完了します。

- ソフトウェアが最新の場合は、【はい】を選んだあと、確認画面が表示されるので決定を押してください。【はじめての設定】が完了します。

11 ◀▶で【はい】または【いいえ】を選んで決定を押す



はい： ソフトウェアのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終わったら、自動的に本機が再起動され、ソフトウェアの更新が始まります。(更新が完了するまで時間がかかることがあります。)ソフトウェアの更新が完了すると、もう一度本機が再起動し、【はじめての設定】が完了します。

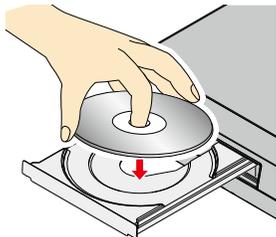
いいえ： ソフトウェアをダウンロードせず、【はじめての設定】が完了します。

メディアを用意する

ディスクを入れる

1  を押し、ディスクトレイを開く

2 ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く



3  を押し、ディスクトレイを閉める

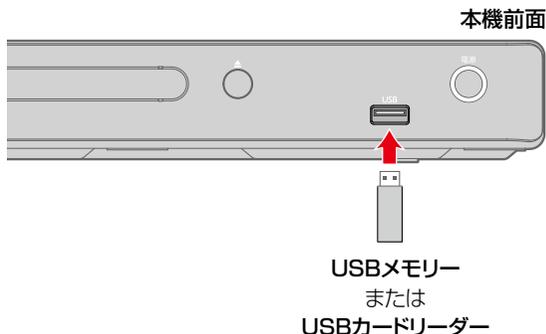
- ディスクの読み込みが始まります。(読み込みに時間がかかることがあります。)

ディスクを取り出すには

 を押し、ディスクトレイを開き、ディスクを取り出してください。ディスクを取り出したあとは、 を押し、ディスクトレイを閉じてください。

USB機器を接続する

- 本機ではUSBメモリー(別売)やUSBカードリーダー(別売)を接続して使うことができます。
- USBカードリーダー(別売)を接続すると、SDカード(別売)を使うことができます。



USB機器を取りはずすには

本機の電源を切ってから、ゆっくりと引き抜いてください。



- USB機器を認識中・読み込み中は、以下の操作をしないでください。
 - 本機の電源を切る
 - USB機器を取りはずす
- USBメモリーを接続するときは、延長ケーブルを使わないでください。
- USBカードリーダーによっては、SDカードを認識できないことがあります。その場合、別のUSBカードリーダーをお使いください。



- 対応するSDカードについては、[45](#)をご覧ください。

画面表示の見かた

スタートメニュー

ディスクに記録されたコンテンツの再生をします。18 20

タイムシフト過去番組表を表示します。36

USB機器から再生します。19 21

さまざまな機能を設定します。46

ざんまいプレイリストを表示します。38

ネットワークを利用し、他機の映像を再生します。34

無線LANアダプター(別売)を使って、ネットワークに接続しているときは

ネットワークの接続状態が表示されます。

: ネットワークが接続されています。接続状態によって、白い線が増減します。

: ネットワークが接続されていません。

準備する

タイトル(トラック・ファイル)リスト

映像を再生するとき※

① タイトルリスト フルレイディスク-2

② TR 1 / 35 0:00:00 ⑧

③ わくわく動物めぐり DVD-R 400GB ⑥

1. 無敵なカーテン	13/09
2. わくわく動物めぐり	13/09
3. 名画アルバム時選集	13/09
4. 鉄道の旅	13/09
5. さわやかな自然風景	13/09
6. 第8回オーケストラ	13/09
7. ドラマ「春夏秋冬」	13/09

④ ⑤ ⑦

- ① ディスクやUSB機器、またはフォルダの名前
- ② 現トラック番号/総トラック数
- ③ タイトル・トラック・ファイル名
- ④ ファイルリスト一覧
- ⑤ 映像の詳細情報
- ⑥ メディアの種類
- ⑦ 動作状態
- ⑧ 再生経過時間

※ BD-RE/-R(BDAV方式)やDVD(VR方式とAVCREC™方式)の場合に表示します。

音楽を再生するとき

① ファイルリスト

② TR 1 / 28 0:00:00 ⑧

③ CD-DA xxxxx CD-DA ⑥

1	0:03:53
2	0:04:15
3	0:04:40
4	0:03:32
5	0:04:29
6	0:03:34
7	0:04:12

④ ⑦

お知らせ ● 本機で再生できるフォーマットについては、44をご覧ください。

写真を再生するとき

① サムネイル

② TR 1 / 114 ⑦

③ 国内旅行 DVD-RW DATA ⑥

④

再生する

ディスクの映像を再生する

BD-VideoやDVD-Video、AVCHD
ファイルを再生するとき

- 1 ディスクを入れる
 - 自動的に再生が始まります。再生が始まらないときは、▶を押してください。
 - ディスクのメニュー画面が表示される場合は、画面の指示に従って操作してください。

メニューを操作する

(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。また、BD-Videoの場合は再生中にポップアップメニューを表示して、いろいろな操作ができます。ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの取扱説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

- 1 を押す
 - メニュー選択画面が表示されます。
 - ディスクによっては、を押してもメニューが表示されることがあります。
 - 2 ▲・▼で表示したいメニューを選ぶ
- | | |
|----------------------------------|--|
| BD-Videoの場合 | |
| DVD-VideoまたはDVD-RW/-R (Video)の場合 | |
- 3 ▲・▼・◀・▶で希望のタイトルや項目を選んで を押す

種類の異なるファイルが入っている
ディスクを再生するとき

- 1 ディスクを入れる
- 2 ◀・▶で【ビデオカメラ映像】または【TV番組の映像】を選んで を押す



- タイトル(トラック・ファイル)リスト画面が表示されたときは、▲・▼で再生したいタイトル(トラック・ファイル)を選んで▶を押してください。

ブルーレイディスク(BDAV方式)やDVD
(VR方式やAVCREC™方式)を再生するとき

プレイリストを設定しているときは、【オリジナル】または【プレイリスト】を選んで再生することができます。

- 1 ディスクを入れる
 - タイトルリストが表示されます。
- 2 で【オリジナル】または【プレイリスト】を切り換える
- 3 ▲・▼でお好みのタイトルを選んで または を押す

お知らせ

- BDAV方式やAVCREC™方式、VR方式とは、各方式に対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行う、ブルーレイディスク™/DVDレコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- ブルーレイディスク™/DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル(番組)を【オリジナル】と呼びます。
- 【オリジナル】を元に編集して作成したタイトルを【プレイリスト】と呼びます。【プレイリスト】が作成されていないディスクでは、【オリジナル】のみを表示します。
- ファイナライズされていないBD-Rは再生できないことがあります。ファイナライズされていないDVD-RW/-Rは再生できません。
- ディスク名、タイトル名では、認識されない記号などの文字は* (アスタリスク)で表示されます。また、記録方式によっては、認識できる文字であっても* (アスタリスク)で表示される場合があります。

SDカードから映像を再生する

SDカードから再生するときは、USBカードリーダーを使って再生してください。

1 USBカードリーダーを接続する

2 **スタートメニュー** を押す

3 ▲・▼・◀・▶で【USB】を選んで **決定** を押す

- 再生が始まります。
- 再生が始まらないときは、▶を押してください。
- 種類の異なるファイルが入っているSDカードの場合、ファイルタイプ選択画面が表示されます。【ビデオカメラ映像】を選んで **決定** を押してください。



- USBメモリーから直接映像を再生することはできません。

ディスクの音楽を再生する

1 ディスクを入れる

2 ▲・▼で聞きたい曲を選んで **決定** を押す

- 再生が始まります。

再生開始位置について

■を押して再生を停止すると、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。

▶を押して再生すると、レジュームポイントから再生することができます。

- レジュームポイントを記憶したあとに、もう一度 ■を押すと、レジュームポイントは解除されます。(BD-Video、DVD-Video、AVCHDのみ有効)

ディスクの場合

BD-Video DVD-Video AVCHD	スタートメニュー画面で【ディスク】を選び、 決定 または ▶を押すと、続きから再生します。 最初から再生したい場合は、レジュームポイントを解除してください。
BDAV AVCREC DVD-VR	タイトルリスト画面でお好みのタイトルを選んで 決定 または ▶を押すと、レジュームポイントから再生します。 タイトルの最初から再生したい場合は、停止中に 決定 を押し、【最初から再生】を選択してください。
音楽CD	ファイルリスト画面で聞きたい曲を選んで 決定 または ▶を押すと、レジュームポイントから再生します。 トラックの先頭から再生したい場合は、停止中に 決定 を押し、【最初から再生】を選択してください。

- 本機の電源を切っても、レジュームポイントを記憶することができます。
- ブルーレイディスクによっては、レジュームポイントが記憶されないことがあります。
- 本機からディスクを取り出すと、レジュームポイントは解除されます。
- 【オリジナル】または【プレイリスト】を切り換えると、レジュームポイントは解除されます。

USB機器の場合

- 以下の場合、レジュームポイントは解除されます。
 - 本機の電源を切る
 - USB機器を取りはずす

写真や絵を再生する(スライドショー)

パソコンやデジタルカメラなどでJPEG形式の写真や絵を記録したディスクやUSB機器を、本機で再生することができます。

ディスクの写真や絵を再生する

JPEGファイルのみのディスクを再生するとき

- 1 ディスクを入れる
- 2 ▲・▼・◀・▶で写真/絵を選んで ▶ または ● を押す
 - 選んだ写真/絵から再生が始まります。

種類の異なるファイルが入っているディスクを再生するとき

- 1 ディスクを入れる
- 2 ◀・▶で【写真】を選んで ● を押す
 
- 3 ▲・▼・◀・▶で写真/絵を選んで ▶ または ● を押す
 - 選んだ写真/絵から再生が始まります。

再生を停止するときは

- を押してください。
- を押すと、最後に再生した写真/絵に戻ります。



- ◀・▶で写真を90°ずつ回転することができます。
- 再生中に ● を押すと、一覧を表示することができます。
- 1つあたりのファイルの再生時間(表示間隔)は10秒です。
- 写真/絵の容量が大きいと、表示するまでに時間がかかることがあります。
- 記録状態によっては、再生できないファイルがあります。
- プログレッシブJPEG形式のファイルは、再生できません。

USB機器の写真や絵を再生する

- USBカードリーダーを使うと、SDカードから写真や絵を再生することができます。
- AVCHDはUSBカードリーダーを使って、SDカードから再生することができます。

JPEGファイルのみのUSB機器を再生するとき

1 USB機器を接続する

2 **スタートメニュー** を押す

3 ▲・▼・◀・▶で【USB】を選んで **決定** を押す



4 ▲・▼・◀・▶で写真/絵を選んで **決定** を押す
または **決定** を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

種類の異なるファイルが入っているUSB機器を再生するとき

1 USB機器を接続する

2 **スタートメニュー** を押す

3 ▲・▼・◀・▶で【USB】を選んで **決定** を押す



4 ◀・▶で【写真】を選んで **決定** を押す



5 ▲・▼・◀・▶で写真/絵を選んで **決定** を押す
または **決定** を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

再生するとき便利な機能

速度を変えて再生する

早送り/早戻し
早く見る/聞く再生中に 、 を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で変わります。(音楽用CDとホームネットワークで配信されている映像や音楽、タイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組は、3段階で変わります。)
-  を押すと、通常再生に戻ります。



- ホームネットワークで配信されている映像や音楽、タイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合、早送り/早戻しできないことがあります。
- 音楽用CDの場合、曲をまたいで早送り/早戻しすることはできません。
- スライドショーは早送り/早戻しできません。

再生一時停止
再生を一時的に止める再生中に  を押す

-  または  を押すと、通常再生に戻ります。

スロー再生
ゆっくり見る再生一時停止中に  を押す

- 押すたびに、再生速度が3段階で変わります。
-  を押すと、通常再生に戻ります。



- 【スチルモード】を【フィールド】に設定しているときは、スロー再生中の映像がぼやけて見えます。**46**
- ホームネットワークで配信されている映像や音楽、タイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合、スロー再生できないことがあります。
- 音楽用CDの再生やスライドショーは、スロー再生できません。
- 逆スロー再生はできません。

コマ送り
コマを進める再生一時停止中に  を押す

- 押すたびに、コマが進みます。
-  または  を押すと、通常再生に戻ります。



- 【スチルモード】を【フィールド】に設定しているときは、コマ送り再生中の映像がぼやけて見えます。**46**
- コマ戻しはできません。

スキップ
見たい/聞きたいところまでとばす再生中に 、 を押す

-  を押すと、次のタイトルやチャプターなどにとびます。
-  を1回だけ押すと、再生しているタイトルやチャプターの頭にとびます。(繰り返して押すと、前のタイトルやチャプターにとびます。)

サブメニューを使ってとばす

サブメニューからスキップすることができます。

- 1 再生中に  を押してサブメニューを表示する
- 2 ▲・▼で【サーチ】を選んで  を押す
- 3 ▲・▼で希望のスキップを選んで  を押す
 - 映像(ブルーレイディスクなど)は、**TTT** や **CHP** を選んでください。
 - 音楽CDを再生しているときは、**TR** を選んでください。
 - スライドショー中は、手順4へ進んでください。
- 4 ▲・▼で番号を選んで  を押す

数字ボタンを使ってチャプターをスキップするときは

リモコンの数字ボタンを使って、チャプターをスキップすることができます。(タイトル再生中のみ)



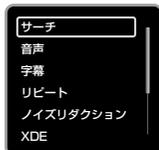
- ホームネットワークで配信されている映像やざんまいプレイから再生した番組の場合は、、 でスキップできないことがあります。
- タイムシフト過去番組表から再生した番組は、 でスキップすることはできません。また、 を1回押すと、再生している番組の頭にスキップすることができますが、 を繰り返し押して前の番組にスキップすることはできません。
- BD-Videoによっては、スキップできないことがあります。
- ホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組はサブメニューからスキップしたり、数字ボタンを使ってスキップすることはできません。

サーチ

時間を指定してとばす

1 再生中に  を押して、サブメニューを表示する

2 ▲・▼で【サーチ】を選んで  を押す



3 ▲・▼で  を選んで  を押す

4 ▲・▼または **1** ~ **0** で数値を変更し、 を押す

お知らせ

- 以下の場合、【サーチ】を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送り中
 - ・ 一時停止中

ご注意

- ホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合、サーチできないことがあります。
- スライドショーは、サーチすることはできません。

リピート再生

繰り返して見る

1 再生中に  を押す

2 ▲・▼で希望のリピート再生を選ぶ

-  を押して選ぶこともできます。
- メディアによって、リピート再生が異なります。

映像※1 ・ ディスク ・ USB機器	切 ↓ チャプター ↓ タイトル
映像※2 ・ ディスク	切 ↓ チャプター ↓ タイトル ↓ オール
写真/絵 ・ ディスク ・ USB機器	切 ↓ トラック ↓ グループ ↓ ランダム
音楽 ・ ディスク	切 ↓ トラック ↓ オール ↓ ランダム
ホームネットワークで配信されている映像など	切 ↓ トラック ↓ グループ ↓ ランダム

※1 BD-VideoやDVD-Video、AVCHD方式の映像

※2 BD-RE/-R(BDAV方式)やDVD(AVCREC™方式、VR方式)の映像

お知らせ

- サブメニューからリピート再生することもできます。
- 以下の場合、リピート再生を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送り中
 - ・ 一時停止中

ご注意

- 再生を停止すると、リピート再生は解除されます。
- ホームネットワークで配信されている映像などの場合、リピート再生できないことがあります。
- タイムシフト過去番組表から再生した番組やざんまいプレイから再生した番組の場合、リピート再生はできません。

音声、字幕、カメラアングルを切り換える

音声を切り換える

再生中のディスクに複数の音声や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

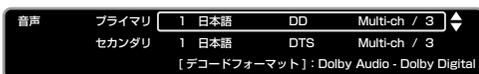
- ニカ国語(二重音声)で記録されたBD-RE/-R(BDAV方式)、DVD(AVCREC™方式)、DVD(VR方式)やホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組は、「主音声」や「副音声」、「主/副音声」に切り換えることができます。
- サブメニューから音声を切り換えることもできます。

1 再生中に  を押して、音声情報を表示する

2 希望の音声を選ぶ

-  を押して選ぶこともできます。

BD-Videoの場合



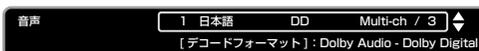
1 ▲・▼で項目を選んで  を押す

プライマリ	プライマリ音声を設定します。
セカンダリ	セカンダリ音声を設定します。

2 ▲・▼で希望の音声を選ぶ

- 【セカンダリ】の場合、◀▶で【切】に設定することができます。

DVD-VideoやAVCHDファイルの場合



1 ▲・▼で希望の音声を選ぶ

音楽用CDの場合



1 ▲・▼で希望の音声を選ぶ

ステレオ	L-chとR-ch両方の音声を有効にします。
L-ch	L-chの音声を有効にします。
R-ch	R-chの音声を有効にします。

ホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合



1 ▲・▼で希望の音声を選ぶ

お知らせ

- 以下の場合、音声を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送り中
 - ・ 一時停止中

ご注意

- 【BD-HD音声設定】を【HD音声】に設定しているときは、セカンダリ音声は出力されません。[47](#)
- 複数の音声記録されていないときは、音声を切り換えることはできません。
- ディスクによっては、「ディスクメニュー」から音声を切り換えることができます。(詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
- ディスクによっては、 が機能しないときがあります。(「ディスクメニュー」で音声を切り換えるDVDなど)
- DTS-CDは、音声を切り換えることができません。

字幕を切り換える

再生中の映像に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕の表示/非表示を切り換えることができます。

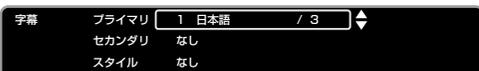
- サブメニューから字幕を切り換えることもできます。

1 再生中に  を押して、字幕情報を表示する

2 希望の字幕を選ぶ

-  を押して選ぶこともできます。

BD-Videoの場合



1 ▲・▼で項目を選んで  を押す

プライマリ	プライマリ映像用の字幕を設定します。
セカンダリ	セカンダリ映像用の字幕を設定します。
スタイル	字幕のスタイルを設定します。

2 ▲・▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀▶で選んだ設定を【入】または【切】に設定することができます。

DVD-VideoやAVCHDファイルの場合



1 ▲・▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀▶で選んだ設定を【入】または【切】に設定することができます。

お知らせ

- 以下の場合、字幕を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送り中
 - ・ 一時停止中



- ディスクによっては、「ディスクメニュー」から字幕を切り換えることができます。(詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
- ディスクに字幕が記録されていないときは、字幕を切り換えることはできません。
- セカンダリ映像用の字幕を表示中に、プライマリ映像用の字幕を利用することはできません。
- ホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合、字幕を切り換えることはできません。

カメラアングル(見る角度)を切り換える

ディスクに複数のカメラアングルが記録または収録されているときは、見る角度を選ぶことができます。

- が表示されているときにカメラアングルを切り換えることができます。

- 1 再生中に を押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲・▼で【アングル】を選んで を押す
- 3 ▲・▼で希望のカメラアングルを選ぶ



- 【アングル表示】を【切】にしているときは、 は表示されません。 **48**
- ホームネットワークで配信されている映像やタイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組の場合、カメラアングルを切り換えることはできません。
- 以下の場合、カメラアングルを設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送りに中
 - ・ 一時停止中

BD-Videoの子画面を切り換える

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応ディスクのみ)
子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 1 BD-Video再生中に を押してサブメニューを表示する
 - 2 ▲・▼で【PiP】を選んで を押す
-
- 3 ▲・▼で希望の設定を選んで を押す
 - 子画面が表示されます。

子画面を非表示にするには

手順 **3** で【切】を選んでください。



- 子画面の音声は、サブメニューの【音声】で変更することができます。 **24**
- 子画面は、場面によって表示されないことがあります。
- 以下の場合、【PiP】を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送りに中
 - ・ 一時停止中

ノイズリダクション 再生映像のノイズを低減する

- 1 再生中に を押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲・▼で【ノイズリダクション】を選んで を押す
- 3 ▲・▼で希望の設定を選んで を押す



- ホームネットワークで配信されている映像、タイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組も設定することができます。
- 本機の電源を【切】にしても、【ノイズリダクション】の設定は記憶されています。
- 以下の場合、【ノイズリダクション】を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送りに中
 - ・ 一時停止中

XDE 再生映像の画質を鮮明な画質に補正する

映像の画質を精細感の高い画質に補正します。

- 1 再生中に を押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲・▼で【XDE】を選んで を押す
- 3 ▲・▼で希望の設定を選んで を押す



- ホームネットワークで配信されている映像、タイムシフト過去番組表から再生した番組、ざんまいプレイから再生した番組も設定することができます。
- 以下の場合、【XDE】を設定することはできません。
 - ・ 早送り/早戻し中
 - ・ コマ送りに中
 - ・ 一時停止中
- 接続しているテレビによっては、映像が白っぽく見えることがあります。その場合、【XDE】を【切】に設定してください。
- ハイビジョン画質(1080p24)の映像など再生している映像の解像度や本機に接続している機器のHDMI出力解像度によっては、効果がないことがあります。

ネットワークを接続する

LANケーブルを使って接続する

ブロードバンド常時接続環境がある場合

(本機とルーターまたはハブを接続してください)

他機の映像などを再生したい

DLNA対応機器の映像などを本機で再生できます。

必要な設定

「ネットワークを設定する」**28**

他機の過去番組表を表示したい

タイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、番組表形式(過去番組表)で表示できます。

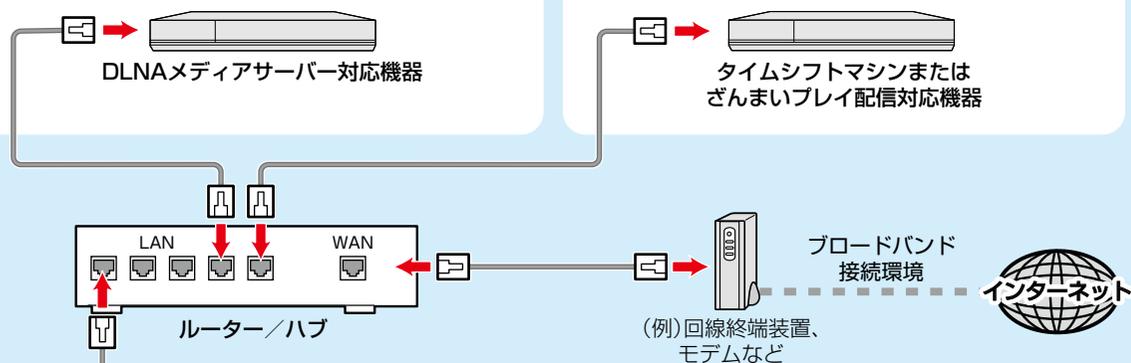
他機のざんまいプレイリストを表示したい

ざんまいプレイ配信対応機器のざんまいプレイリストを表示し再生することができます。

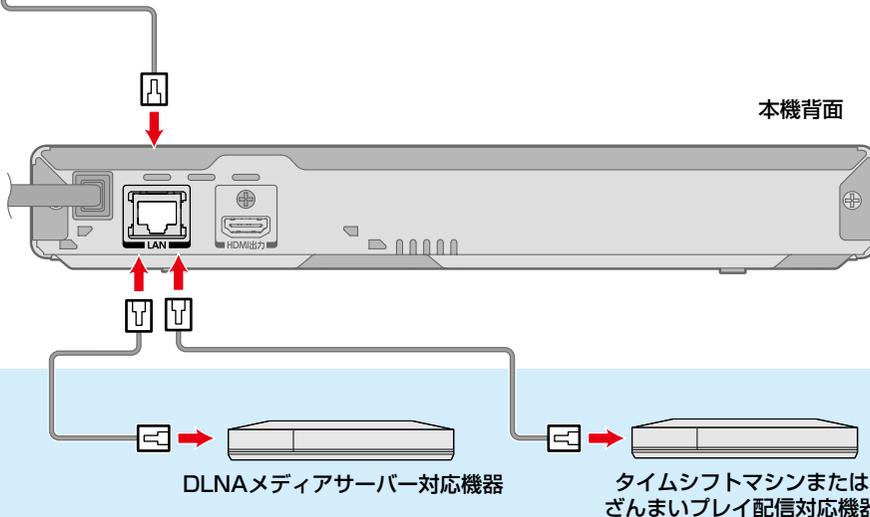
必要な設定

「ネットワークを設定する」**28**

「タイムシフトマシン設定」**47**



ネットワークを使う



(本機と他機を接続してください)

ブロードバンド常時接続環境がない場合



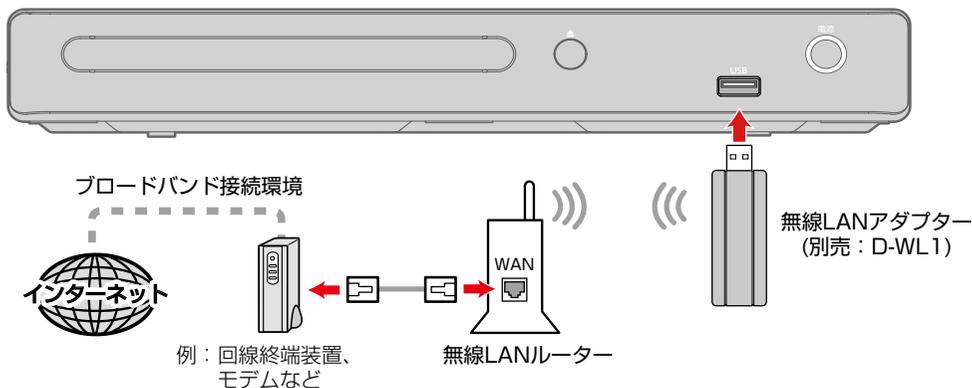
- 複数の他機を同時に接続する場合は、ハブに他機を接続してから、本機とハブを接続してください。

無線LANアダプター(別売)を使って接続する

東芝の無線LANアダプターを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。

- ブロードバンド常時接続環境があれば、左図の「ブロードバンド常時接続環境がある場合」のすべての機能を使うことができます。
- BD-Live™機能を使うときは、LANケーブルでインターネットに接続してください。

本機前面



- 東芝の無線LANアダプター(別売：D-WL1)以外は使用できません。
- 本機の電源を切っている時に、東芝の無線LANアダプターを接続し、電源を入れることを推奨します。

ネットワークを設定する

制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信用事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- 本機の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダー指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信用事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。）
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル（ストレートまたはクロス）をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続環境にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災や地震、雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。



- LANケーブルは、カテゴリ 5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。本機とDLNAメディアサーバー対応機器やタイムシフトマシンまたはざんまいプレイ配信対応機器を直接LANケーブルで接続する場合は、カテゴリ 5以上対応のクロスケーブルをご使用ください。ただし、DLNAメディアサーバー対応機器やタイムシフトマシンまたはざんまいプレイ配信対応機器がストレートケーブルに対応している場合は、ストレートケーブルでもご使用になれます。



- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、**スタート** を押し、【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットワークステータス表示】画面で確認できます。**47**
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販）が必要です。
 - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどとの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器やタイムシフトマシンまたはぜんまいブレイ配信対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーの契約は不要です。

LANケーブルで接続しているときの設定

自動で設定する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【ネットワーク設定】 → 【ネットワーク接続設定】 → 【設定開始】を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼ で【有線】を選んで **決定** を押す
- 5 ▲・▼ で【自動】を選んで **決定** を押す
 - ・ ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【終了】を選んで **決定** を押してください。

ネットワークを設定できなかったときは

【手動】で接続してください。 **30**

ネットワークを設定する・つづき

手動で設定する

以下のような場合、手動でネットワークを設定してください。

- ネットワークを自動で設定することができなかった場合
- インターネットサービスプロバイダーなどにより、ネットワーク設定に特定の設定が必要な場合

1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 **▲・▼・◀・▶** で【本体設定】を選んで **決定** を押す

3 **▲・▼・◀・▶** で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【設定開始】を選んで **決定** を押す

4 **▲・▼** で【有線】を選んで **決定** を押す

5 **▲・▼** で【手動】を選んで **決定** を押す

- 以下の画面が表示されたら、パソコンを確認して、それぞれの項目を設定してください。
- **1** ~ **0** を押して、数値を入力してください。



- IPアドレス:** パソコンなどに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。
- サブネットマスク:** パソコンと同じ数値を入力してください。
- デフォルトゲートウェイ:** パソコンと同じ数値を入力してください。
- プライマリDNS:** パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- セカンダリDNS:** パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- すべての項目を入力し終わったら、【次へ】を選んで **決定** を押してください。

6 **▲・▼** でプロキシサーバーを使用するかしないかを選んで **決定** を押す

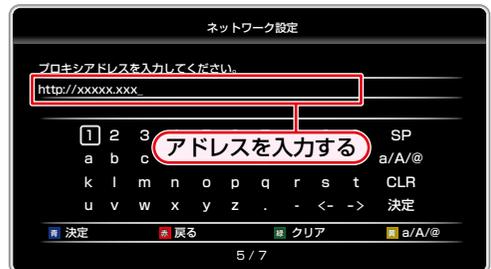
【はい】を選んだときは

手順 **7** へ進んでください。

【いいえ】を選んだときは

手順 **9** へ進んでください。

7 プロキシアドレスを入力する



- **▲・▼・◀・▶** を使って入力してください。(数字はリモコンの **1** ~ **0** でも入力できます。)
- **赤** を押すと、前の画面に戻ります。
- **緑** を押すと、入力された文字を削除します。
- **黄** を押すと、小文字/大文字/特殊文字(@!/?など)を切り換えることができます。
- 入力し終わったら、**青** を押してください。

8 プロキシポート番号を入力する

- **1** ~ **0** を押して、数値を入力してください。
- 入力し終わったら、【OK】を選んで **決定** を押してください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を選んで **決定** を押してください。

9 接続テストをする

- 【はい】を選んで **決定** を押すとネットワークが正しく接続されているか、テストが始まります。
- テスト結果が表示されたら、【終了】を選んで **決定** を押してください。



- パソコンに設定されている数値を確認するには「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定変更」→「ローカルエリア接続」→「プロパティ」→「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」からご確認ください。(Windows® 7の場合)
- OSの種類が異なるなどの場合、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

用語について

IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ

ネットワークで本機を識別するための固有の番号になります。

- 0～255の間で設定します。(255以上の数値を入力すると、自動的に255に再設定されます。)

プライマリDNS/セカンダリDNS

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

- 0～255の間で設定します。(255以上の数値を入力すると、自動的に255に再設定されます。)

プロキシサーバー/プロキシアドレス/プロキシポート番号

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

- プロキシアドレスとは、ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスです。
- プロキシポート番号とは、プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。(ネットワークの環境によっては、利用できないことがあります。)
- 0～65535の間で設定します。(65535以上の数値を入力すると、自動的に65535に再設定されます。)
- プロキシサーバーの設定を変更すると、ネットワークに接続できなくなることがあります。

接続テスト

ネットワークの設定後やネットワークの設定を変更後は、接続テストを行ってください。ネットワークが正しく接続できているか確認することができます。

1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶ で【**本体設定**】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼・◀・▶ で【**ネットワーク設定**】→【**ネットワーク接続設定**】→【**接続テスト**】を選んで **決定** を押す

- ネットワーク接続テストが始まります。
- 接続テストの結果が表示されたら、**決定** を押してください。

ネットワーク接続ができていないときは

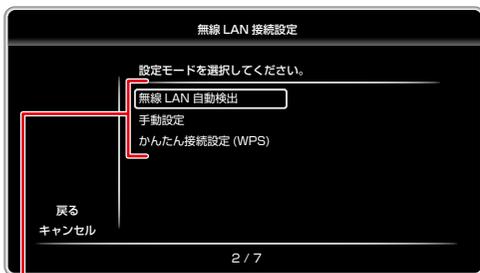
ネットワークの接続やネットワークの設定をご確認ください。**26**、**28**

ネットワークを設定する・つづき

- 本機(前面)に接続する無線LANアダプターは、東芝の無線LANアダプター(別売：D-WL1)をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、お手持ちのルーターのセキュリティを設定してお使いください。セキュリティ設定をしていないと、第三者に不正アクセスされ、勝手にインターネットを使用されてしまう可能性があります。

無線LANアダプター(別売)を接続しているときの設定

- 1 **スタートメニュー**を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【設定開始】を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼で【無線】を選んで **決定** を押す
- 5 ▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押す



- 無線LAN自動検出：** 本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して設定します。
- 手動設定：** 設定に必要な各項目を手動で設定します。
- かんたん接続設定(WPS)：** かんたんに無線LANを設定します。

無線LAN自動検出

- 1 ▲・▼で無線LANアクセスポイントを選んで **決定** を押す
アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは
 手順 2 へ進んでください。
アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは
 手順 3 へ進んでください。
- 2 セキュリティキーを入力してください。
 ・ 入力し終わったら、**青** を押してください。
- 3 ▲・▼で【次へ】を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押す
【自動】を選んだときは
 ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【終了】を選んで **決定** を押してください。
【手動】を選んだときは
 各項目を設定してください。
 ・ 「手動で設定する」の手順 5 ~ 9 をご覧ください。
30

手動設定

① SSIDを入力して、**[OK]**を押す

② **▲・▼**でセキュリティを選んで**[決定]**を押す

アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは
手順③へ進んでください。

アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは
手順④へ進んでください。

③ セキュリティキーを入力して、**[OK]**を押す

④ **▲・▼**で【次へ】を選んで**[決定]**を押す

⑤ **▲・▼**で設定方法を選んで**[決定]**を押す

【自動】を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。
ネットワークの接続が終わったら、【終了】を選んで**[決定]**を押してください。

【手動】を選んだときは

各項目を設定してください。

- ・「手動で設定する」の手順⑤～⑨をご覧ください。

30

かんたん接続設定(WPS)

【プッシュボタン方式(PBC)】で設定するときは

無線LANアクセスポイントの設定については、東芝の無線LANアダプター(別売：D-WL1)の取扱説明書をご覧ください。

① 無線LANアクセスポイントの所定のボタンを押す

- ・ ボタンの名称は、無線LANアクセスポイントによって異なります。
- ・ 所定のボタンを押したあと、2分以内に手順②を行ってください。

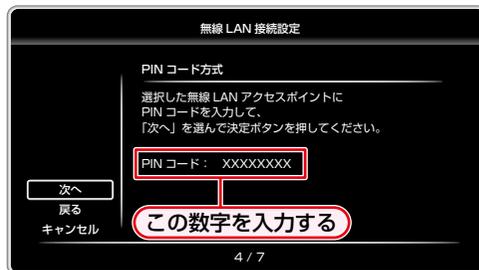
② **▲・▼**で【プッシュボタン方式(PBC)】を選んで**[決定]**を押す

- ・ ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【終了】を選んで**[決定]**を押してください。

【PINコード方式】で設定するときは

① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を**▲・▼**で選んで**[決定]**を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



- ・ 詳しい設定は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- ・ ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、【終了】を選んで**[決定]**を押してください。



- 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定が「WEP」の場合、【かんたん接続設定(WPS)】で設定することができません。
- 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定を「TKIP」または「AES」に変更してください。(詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)

ネットワークを使う

ホームネットワークを使って再生する

DLNAを使って、他の部屋にある機器(DLNAサーバー)の映像などを本機で再生することができます。(レコーダーなどで記録した番組も再生することができます。)

- 詳しくは、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。

あらかじめ、ネットワークを接続・設定してください。**26**、**28**

1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶ で【ホームネットワーク】を選んで **決定** を押す



- メディアサーバーを読み込みます。
- 読み込みが終わると、メディアサーバーが一覧で表示されます。(最大30件まで)

3 ▲・▼ でメディアサーバーを選んで **決定** を押す

4 ▲・▼ で見たいファイルを選んで **決定** または **再生** を押す

- 再生が始まります。
- 写真/絵を選ぶと、スライドショーが始まります。
- 再生中の機能については、「再生するとき便利な機能」**22** をご覧ください。

メディアサーバーで認識できるフォーマット

映像	MPEG2-PS、 MPEG2-TS/TTS、 AVC* ¹
音楽	LPCM、 AAC_ISO_320(m4a, 3gp)* ²
写真/絵	JPEG* ³

*¹ レコーダーなどで録画した放送波の映像。

*² サーバーによっては再生できないことがあります。

*³ 画素数4096×4096以下、サイズ4.5MB以下。

お知らせ

- フォルダの階層が10以上のファイルは認識されません。
- メディアサーバー一覧に表示されていても、再生できないことがあります。
- プレーヤーやメディアサーバーは、同じネットワークに接続してください。
- メディアサーバーによって、再生時に使える機能が異なります。
- 映像の画質などは、ネットワークの環境によって異なります。
- 再生中にファイルやフォルダを切り換えるときに、時間がかかることがあります。
- 東芝のブルーレイディスクレコーダーで以下の編集をしたタイトルを再生中に、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
 - おまかせプレイリスト作成
 - 偶数チャプタープレイリスト作成
 - 奇数チャプタープレイリスト作成
 - 手動選択プレイリスト作成
 - おまかせプレイ
 - チャプター削除
 - タイトル結合
- ハイビジョン画質放送と標準画質放送(マルチチャンネル放送など)が混在したタイトルを再生中、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
- 無線LANアクセスポイントは、5GHz帯へ設定してご使用ください。(2.4GHz帯の設定では、再生時に映像が止まったりすることがあります。)

おまかせプレイを使う

おまかせプレイに対応した東芝のブルーレイディスクレコーダーで録画した番組で、本編のみを再生することができます。

1 再生中に  を押すたびに、おまかせプレイと通常の再生が切り換わります。



- タイムシフト録画した番組はチャプター情報がないため、おまかせプレイを使用することができません。
- 本編のみの番組はおまかせプレイを使用することができません。

BD-Live™

バーチャル・パッケージを使う

BD-Live™機能付きのBD-Videoをインターネットに接続して再生すると、特別映像や字幕などの追加コンテンツやネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

BD-Live™機能を利用するには、以下の接続・設定が必要です。

- LANケーブルを使って、インターネットに有線で接続・設定してください。 [26](#)、[28](#)
- あらかじめ、USBメモリー(空き容量が1GB以上のもの)を接続してください。 [16](#)

- インターネットに有線で接続・設定後、【ネットワーク設定】が以下になっているか合わせてご確認ください。[47](#)
 - 【インターネット接続制限】が【制限しない】
 - 【BD-Live接続設定】が【有効】または【有効(制限つき)】

無線LANアダプター(別売)を使っているときは

- 無線LANアダプター(別売)を使ってインターネット接続しているときは、LANケーブルを使ってインターネットを接続しなおしてください。



- BD-Live™で利用できる様々な機能は、ディスクによって異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスク画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を使用しているときは、本機からLANケーブルやUSBメモリーを取りはずさないでください。
- ディスクによっては、【ネットワーク設定】の【BD-Live接続設定】を設定する必要があります。[47](#)
- BD-Live™対応ディスクの再生中、プレーヤーまたはディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。

ネットワークを使う・つづき

タイムシフト過去番組表を表示する

タイムシフトマシン連携機能を使って、他の部屋にあるタイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を、番組表形式(過去番組表)で表示することができます。

- タイムシフトマシン機能について詳しくは、タイムシフトマシン対応機器の取扱説明書をご覧ください。

タイムシフトマシン連携機能を利用するには、以下の接続・設定が必要です。

- ネットワークを接続・設定してください。**26**、**28**
- 【タイムシフトマシン連携】を【利用する】に設定し、【連携機器】でタイムシフトマシン対応機器を登録してください。**47**

1 電源ボタンを押す

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表が表示されます。
- **メニュー**を押して【タイムシフト過去番組表】を選ぶことで、過去番組表を表示することもできます。
- ディスク再生中の場合や、USB/ホームネットワーク/ざんまいプレイでファイルを再生中は表示されません。

2 見たい番組を▲・▼・◀・▶で選んで決定を押す

- **青**・**赤**を押すと、前日/翌日に切り換わります。
- **緑**・**黄**を押すと、日時が切り換わります。
- ◀▶を押すと、チャンネルが切り換わります。

3 ◀▶で【見る】を選んで決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 選んだ番組の番組内容を表示する場合は、◀▶で【詳細を表示】を選んで決定を押してください。
- 再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されている番組を選んだ場合、【続き再生】を選んで決定を押すと、レジュームポイントから再生することができます。
- 再生中の機能については、「再生するときに便利な機能」**22**をご覧ください。

4 番組の再生を終了するには停止を押す

- 再生停止位置(レジュームポイント)が記録され、再生が終了します。
- 番組を選び直すには、過去番組表が表示されているときに手順2から操作してください。

過去番組表の表示例

タイムシフトマシン対応機器側のタイムシフトマシン設定で設定したチャンネルだけが表示されます。

タイムシフトマシン対応機器側のタイムシフトマシン機能で録画された時間帯だけが表示されます。



【連携機器】で登録したタイムシフトマシン対応機器の名称が表示されます。

選択されている番組

お知らせ

- 【タイムシフトマシン連携】を【利用する】に設定し、【連携機器】でタイムシフトマシン対応機器を登録直後は、最初の過去番組表のデータすべてを取得するまでに時間がかかる場合があります。また、データ取得中は、過去番組表を正しく表示できない場合があります。
- 過去番組表や再生画面などは、タイムシフトマシン対応機器の情報をもとに表示されますので、機器とその状態によっては本機での表示が異なる場合があります。
- タイムシフトマシン対応機器側の動作状態によっては、過去番組表を表示できなかったり、番組の再生ができなかったりする場合があります。詳しくは、タイムシフトマシン対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- タイムシフトマシン対応機器側の設定を変更することで、過去番組表の表示や番組の再生ができなくなる場合があります。このような場合は、本機の【連携機器】でタイムシフトマシン対応機器を再登録してください。
- 【ホームネットワーク】からもタイムシフトマシン対応機器でタイムシフトマシン録画した番組を再生することができます。詳しくは、「ホームネットワークを使って再生する」**34**をご覧ください。

タイムシフト過去番組表を便利に使う

日付を切り換える

日付を指定して切り換えることができます。

- 1 を押す
- 2 ▲・▼で【日付切り換え】を選んで を押す
- 3 ▲・▼でお好みの日付を選んで を押す

番組の続き再生をする

再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されている番組を、レジュームポイントから再生することができます。

- 1 を押す
- 2 ▲・▼で【番組の続き再生】を選んで を押す
 - を押して再生停止位置(レジュームポイント)が記録された、直前に停止した番組のレジュームポイントから再生されます。

過去番組表の表示を切り換える

表示するチャンネルの数を切り換えることができます。

- 1 を押す
- 2 ▲・▼で【表示サイズ切り換え】を選んで を押す
- 3 ▲・▼でお好みの表示を選んで を押す



- 【表示サイズ切り換え】を【9列表示】にしたときは、高精細テレビでご覧ください。

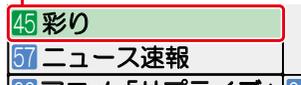
番組のジャンルを色分けして表示する

- 番組のジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

- 1 を押す
- 2 ▲・▼で【ジャンル色分け】を選んで を押す
 - 色分け設定一覧が表示されます。
- 3 ▲・▼で表示する色を選んで を押す
- 4 ▲・▼で設定したいジャンル項目を選んで を押す

- 過去番組表に戻るには を押してください。過去番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。

色が変わります



他の色を続けて設定するときは

手順③～④を繰り返してください。

色分けを解除したいときは

手順④で【設定しない】を選んでください。



- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

過去番組表を更新する

過去番組表を、最新のタイムシフトマシン対応機器の情報に更新することができます。

- 1 を押す
- 2 ▲・▼で【過去番組表の更新】を選んで を押す
- 3 ◀▶で【はい】を選んで を押す
 - 過去番組表の更新が始まります。(更新が完了するまで時間がかかることがあります。)



- 【連携機器の更新】を【30分】または【60分】に設定している場合、自動更新中は【過去番組表の更新】がグレー表示され、選択することができません。

ネットワークを使う・つづき

ざんまいプレイを表示する

タイムシフトマシン連携機能を使って、他の部屋にあるざんまいプレイ配信対応機器のざんまいプレイリストを表示することができます。

ざんまいプレイリストを表示するには、以下の接続・設定が必要です。

- ネットワークを接続・設定してください。**26**、**28**
- 【タイムシフトマシン連携】を【利用する】に設定し、【連携機器】でざんまいプレイ配信対応機器を登録してください。**47**

- ざんまいプレイ機能について詳しくは、ざんまいプレイ配信対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **ざんまい** を押す

- ざんまいプレイ配信対応機器のざんまいプレイリストが表示されます。
- **メニュー** を押して【ざんまいプレイ】を選ぶことで、ざんまいプレイリストを表示することもできます。
- ディスク再生中の場合や、USB/ホームネットワーク/過去番組表でファイル、番組を再生中は表示されません。

2 ▲・▼でフォルダを選んで **決定** を押す

3 ▲・▼で見たい番組を選んで **決定** または **再生** を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されている番組を選んだ場合は、レジュームポイントから再生が始まります。

4 再生を終了するには **停止** を押す

- 再生停止位置(レジュームポイント)が記録され、再生が終了します。

ざんまいプレイを便利に使う

ざんまいプレイリストを更新する

ざんまいプレイリストを、最新のざんまいプレイ配信対応機器の情報に更新することができます。

- 1 **更新** を押す
- 2 ▲・▼で【ざんまいプレイリストの更新】を選んで **決定** を押す
- 3 ◀▶で【はい】を選んで **決定** を押す

- ざんまいプレイリストの更新が始まります。(更新が完了するまで時間がかかることがあります。)

ざんまいプレイの表示例

現在のページ番号/総ページ数

【連携機器】で登録したざんまいプレイ配信対応機器の名称が表示されます。

録画番組をリスト表示

操作ガイド



- 【タイムシフトマシン連携】を【利用する】に設定し、【連携機器】でざんまいプレイ配信対応機器を登録直後は、データすべてを取得するまでに時間がかかる場合があります。また、データ取得中は、ざんまいプレイリストを正しく表示できない場合があります。
- ざんまいプレイリストや再生画面などは、ざんまいプレイ配信対応機器の情報をもとに表示されますので、機器とその状態によっては本機での表示が異なる場合があります。
- ざんまいプレイ配信対応機器側の動作状態によっては、ざんまいプレイリストを表示できなかったり、番組の再生ができなかったりする場合があります。詳しくは、ざんまいプレイ配信対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ざんまいプレイ配信対応機器側の設定を変更することで、ざんまいプレイリストの表示や番組の再生ができなくなる場合があります。このような場合は、本機の【連携機器】でざんまいプレイ配信対応機器を再登録してください。
- 【ホームネットワーク】からもざんまいプレイリストの番組を再生することができます。詳しくは、「ホームネットワークを使って再生する」**34**をご覧ください。

レグザリンク・コントローラを使う

レグザリンク・コントローラとは、HDMI CEC (Consumer Electronics Control)を使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行えますが、当社のレグザリンク対応のREGZAシリーズ機種以外については動作を保証するものではありません。

- 対応機種については、http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/をご覧ください。

あらかじめテレビ側でレグザリンクの設定をしてください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)

レグザリンク・コントローラを設定する

レグザリンク・コントローラを使うには、以下の設定が必要になります。

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 **▲・▼・◀・▶** で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 **▲・▼・◀・▶** で【HDMI設定】→【レグザリンク・コントローラ】を選んで **決定** を押す
- 4 **▲・▼** で【入】を選んで **決定** を押す



- HDMI CECは、HDMIケーブルで接続することにより対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。
- レグザリンク・コントローラは、テレビではレグザリンク(HDMI連動)と呼んでいる場合があります。
- 接続している機器によっては、意図しない動作をすることがあります。このようなときは【レグザリンク・コントローラ】を【切】にしてください。

レグザリンク・コントローラでできること

以下の機能を使うことができます。

ワンタッチプレイ

本機の以下のリモコンボタンを押すと、接続しているテレビの電源が入り、自動的に外部入力に切り換わります。



- * BD-Videoなどの映像のディスクが入っているときのみ、有効になります。

自動的に電源を切る

本機の **電源** を2秒以上押し続けると、本機とテレビの電源を切ることができます。

- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

本機やUSBメモリーを初期化(フォーマット)する

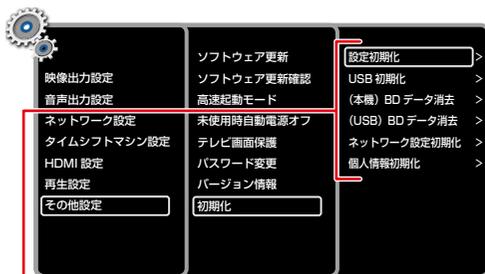
本機の各設定やUSBメモリーを初期化(フォーマット)することができます。

1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲▼◀▶で【本体設定】を選んで **決定** を押す

3 ▲▼◀▶で【その他設定】→【初期化】を選んで **決定** を押す

4 ▲▼で初期化する項目を選んで **決定** を押す



設定初期化: 【BD視聴制限レベル】、【DVD視聴制限レベル】、【ネットワーク設定】、【タイムシフトマシン設定】、【高速起動モード】以外の【本体設定】を初期値に戻します。

USB初期化: USBメモリーを初期化して、本機で使えるようにします。

(本機) BDデータ消去: 本機に保存されたBD-Videoデータを消去します。

(USB) BDデータ消去: USBメモリーに保存されたBD-Videoデータを消去します。

ネットワーク設定初期化: 【インターネット接続制限】と【BD-Live接続設定】以外の【ネットワーク設定】と、【タイムシフトマシン設定】内容を初期値に戻します。

個人情報初期化: 本機をお買い上げ時の状態に戻します。本機に設定した情報が全て消去されます。



- 【USB初期化】や【(USB)BDデータ消去】を実行中に、USBメモリーを抜かないでください。USB機器のデータが破損するおそれがあります。
- 本機にブルーレイディスクが入っていると、【USB初期化】や【(USB)BDデータ消去】ができません。
- 本機にディスクが入っていると、【個人情報初期化】はできません。
- 本機に記憶されたお客様の個人情報(登録情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含めて当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 以下の設定を初期化するには、パスワードを初期化してください。 **42**
 - ・ BD視聴制限レベル
 - ・ DVD視聴制限レベル
 - ・ インターネット接続制限
 - ・ BD-Live接続設定

5 ◀▶で【はい】を選んで **決定** を押す

- 確認メッセージが表示されたら、**決定** を押してください。

視聴可能年齢を設定する

パスワードを設定することで、青少年保護の観点から再生視聴可能年齢を制限することができます。

制限できる機能は以下になります。

- 【BD視聴制限レベル】
- 【BD-Live接続設定】
- 【DVD視聴制限レベル】
- 【インターネット接続制限】

ブルーレイディスクの再生を制限する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【再生設定】→【BD視聴制限レベル】を選んで **決定** を押す
- 4 パスワードを入力する
・ **1**～**0** を押して、数値を入力してください。
- 5 ▲・▼ で【視聴可能年齢設定】を選んで **決定** を押す
- 6 制限する年齢を入力する
・ **1**～**0** を押して、数値を入力して **決定** を押してください。

BD-Live™の再生を制限する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【ネットワーク設定】→【BD-Live接続設定】を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼ で【無効】を選んで **決定** を押す
【有効(制限つき)】を選ぶと

BD-Live™コンテンツ制作者の証明書があるディスクのみ再生することができます。

DVDの再生を制限する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【再生設定】→【DVD視聴制限レベル】を選んで **決定** を押す
- 4 パスワードを入力する
・ **1**～**0** を押して、数値を入力してください。
- 5 ▲・▼ で設定したいレベルを選んで **決定** を押す

インターネットを制限する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【ネットワーク設定】→【インターネット接続制限】を選んで **決定** を押す
- 4 パスワードを入力する
・ **1**～**0** を押して、数値を入力してください。
- 5 ▲・▼ で【制限する】を選んで **決定** を押す



- 【制限する】に設定すると以下の機能が使えません。
 - ・ BD-Live™機能
- 【制限する】に設定していても以下の機能は使えます。
 - ・ ホームネットワークを使った再生
 - ・ タイムシフトマシン連携を使った番組の再生
 - ・ インターネットを使ったソフトウェアの更新



- パスワードを変更したいときは、**42** をご覧ください。

パスワードを変更・初期化する

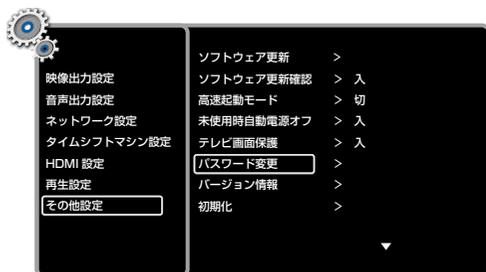
本機に設定しているパスワードを変更することができます。

パスワードは以下の制限に共通して設定されています。(各制限に別々にパスワードを設定することはできません。)

- 【BD視聴制限レベル】
- 【BD-Live接続設定】
- 【DVD視聴制限レベル】
- 【インターネット接続制限】

パスワードを変更する

- 1 **スタートメニュー** を押して、スタートメニュー画面を表示する
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼・◀・▶ で【その他設定】→【パスワード変更】を選んで **決定** を押す



4 現在のパスワードを入力する

- **1**～**0** を押して、数値を入力してください。

5 新しいパスワードを入力する

- **1**～**0** を押して、数値を入力してください。
- 入力し終わったら、【OK】を選んで **決定** を押してください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れたときなどには、パスワードを初期化してください。

- パスワードを初期化すると、設定している制限も初期設定に戻ります。

- 1 パスワードを入力するときに、**4** → **7** → **3** → **7** の順に押す

ソフトウェアを更新する

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア(制御プログラム)を改良し、最新版として公開することがあります。

ソフトウェア更新中は、以下の操作をしないでください。

- 電源プラグやLANケーブル、無線LANアダプターを抜く
- 本機やルーターの電源を切る

最新のソフトウェアをダウンロードする

ソフトウェアを更新するには、インターネットの接続・設定が必要になります。詳しくは [26](#)、[28](#) をご覧ください。

1 **スタート** を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼・◀・▶ で【その他設定】→【ソフトウェア更新】→【ネットワーク】を選んで **決定** を押す

4 ◀・▶ で【はい】を選んで **決定** を押す

- 確認メッセージが表示されたら、【はい】を選んで **決定** を押すとソフトウェアの確認が始まります。ソフトウェアの確認が終わったら、本機が再起動し、ソフトウェアの更新が始まります。(更新が完了するまで時間がかかることがあります。)
- ソフトウェアの更新が終わったら、もう一度本機が再起動し、スタートメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 【その他設定】→【ソフトウェア更新】の【ディスク】と【USB】は、将来の機能拡張用のため、現在は使用できません。
- 無線LANアダプターでネットワークに接続している場合、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

メディアやフォーマットについて

再生できるメディア

ブルーレイディスク

BD-RE (Ver. 2.1)	BDMVまたはBD-RE方式で記録されたディスク
BD-R (Ver. 1.1, 1.2, 1.3)	
BD-Video	リージョンコードに  が含まれるディスク

DVD

DVD-RW	AVC-REC™方式またはVR方式またはAVCHD方式で記録されたディスク
DVD-Video	リージョンコードに  や  が含まれるディスク

CD

CD-RW	 や  が記載されているCD
CD-R	 や  が記載されているCD
CD-DA (音楽用CD)	 が記載されているCD

USB機器

USB機器	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリー USBカードリーダー*
-------	--

* USBカードリーダーを使ってSDカードを使うことができます。



- ファイナライズされていないディスクやパソコンなどの他機で記録されたディスクは、再生できないことがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したBD-RE/BD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したDVD-RW/DVD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。
- 以下のディスクは再生できません。
 - ・異なるリージョンコードのディスク
 - ・NTSC方式(日本のテレビ方式)以外で記録されたディスク

最大ファイル数と最大フォルダ数

本機で認識できる最大ファイル数と最大フォルダ数は以下になります。

ブルーレイディスク、DVD、USBメモリー	9999ファイル 999フォルダ
CD	999ファイル(トラック) 255フォルダ

再生できるフォーマットについて

AVCHD

本機はDVDに記録されたAVCHDファイル(「〜.mts」や「〜.m2ts」)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様に基づいた構造にしてください。

AVCHDファイルをDVDやSDカードなどに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。)

JPEG

本機で再生できるJPEGは以下になります。

サブサンプリング (4:4:4の場合)	32×32 ~ 2560×1900
サブサンプリング (4:2:2の場合)	32×32 ~ 5120×3840

- 1ファイルの再生可能容量は12MBまでです。
- JPEGをディスクに書き込む場合はUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで書き込んでください。

USB機器について

- 本機はFAT16 / FAT32形式でフォーマットされたUSB機器に対応しています。
- パソコンでフォーマットされたUSB機器は本機で認識できないことがあります。その場合は本機でUSB機器の初期化をしてください。**40**
- USB機器を使用しないときは、ケースに入れて保管してください。
- USB機器によっては、本機で認識できないことがあります。
- 以下の点にご注意ください。
 - ・ USB機器を分解しない
 - ・ USB機器の端子部はさわらない
 - ・ パソコンを使ってファイルやフォルダを削除しない
 - ・ ファイルやフォルダの名前に特殊文字(. , = + [] ; / \ : | ¥)を使わない

SDカードについて

- 本機はUSBカードリーダーを使ってSDカードを使うことができます。SD規格に準拠した以下のSDカードに対応しています。
 - ・ FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード
- | | |
|--------------|------------|
| SDHCカード | 4GB ~ 32GB |
| miniSDHCカード | 4GB ~ 8GB |
| microSDHCカード | 4GB ~ 16GB |
- FAT12, FAT16形式でフォーマットされたSDカード
- | | |
|------------|-------------|
| SDカード | 8MB ~ 2GB |
| miniSDカード | 16MB ~ 2GB |
| microSDカード | 256MB ~ 2GB |
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードを保証するものではありません。
 - パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

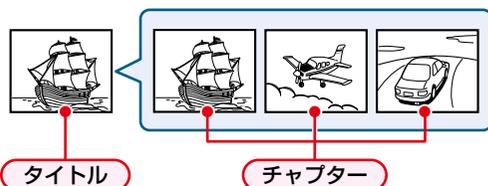
タイトル・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて

タイトルとチャプター

市販のBD-VideoやDVD-Video、またはレコーダーなどで録画した番組は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

タイトル: ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。1冊の本に相当します。

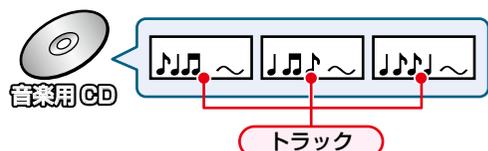
チャプター: タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。



トラック

音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック: 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

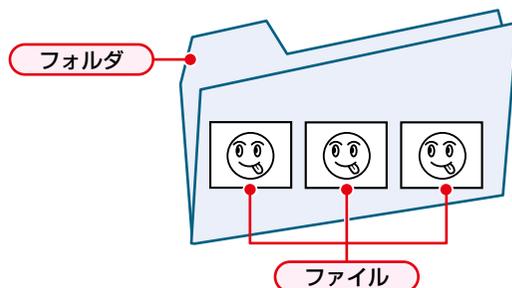


ファイルとフォルダ

JPEG形式の写真などの画像が記録されたメディアは、「フォルダ」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りに分かれています。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

ファイル: ひとつひとつのデータのことです。

フォルダ: ファイルやフォルダなどの集合を内包する階層のことです。



いろいろな設定を変える

()はお買い上げ時の設定です。

【本体設定】を使う

- 1 スタートメニュー画面表示中に▲・▼
◀▶で【本体設定】を選んで  を押す

- 2 ▲・▼で希望の項目または設定を選んで  を押す
 - この操作を繰り返して、希望の設定に変更してください。
 - 確認メッセージが表示されたら、【はい】を選んでください。
 -  を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

- 3 設定が終わったら、 を押してスタートメニュー画面に戻す

【本体設定】の項目と設定内容

映像出力設定

TV画面選択

- 4:3レターボックス：4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
- 4:3パンスキャン：4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVDビデオソフトはレターボックスで表示されます。
- 16:9ワイド：16:9ワイドテレビで見るときに選ばれます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。
- 16:9シュリンク：16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。
 - 再生するディスクと本機の【解像度設定】によっては、設定どおりに表示されないことがあります。

プログレッシブモード

- HDMI出力端子からプログレッシブで出力する際の適切な出力方法を設定します。
- 自動：** 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切な状態で出力します。
 - ビデオ：** ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。【自動】設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。

ステルモード

- 自動：** 表示する静止画の情報に応じて、【フィールド】または【フレーム】のどちらかで表示されます。
- フィールド：** 【自動】に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。【フィールド】を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。
- フレーム：** 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。【フレーム】を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

音声出力設定

Dolby D レンジ

自動: Dolby TrueHDの再生中に、本機がディスクのオーディオDレンジ情報を認識し、自動でオーディオDレンジ設定を【入】または【切】に設定します。Dolby TrueHD以外を再生した場合では【切】と同じ動作をします。

入: 記録された音声の強弱の幅を調整します。

切: 記録されたオリジナル音源で出力します。

- 効果は、タイトルによって異なります。

BD-HD音声設定

複合音声: インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。

HD音声: プライマリ音声のみを高音質で出力します。

ネットワーク設定

ネットワーク接続設定

設定開始: ネットワーク接続を設定します。 **28**

接続テスト: ネットワーク接続が正しくできているか確認します。

ネットワークステータス表示

現在のネットワーク設定に関する情報を一覧で表示します。

無線LANステータス表示

本機に接続したアクセスポイントに関する情報を一覧で表示します。

インターネット接続制限

制限しない: インターネットアクセスを許可します。

制限する: インターネットアクセスを禁止します。

- 【制限する】に設定すると以下の機能が使えません。
 - BD-Live™機能
- 【制限する】に設定していても以下の機能は使えます。
 - ホームネットワークを使った再生
 - タイムシフトマシン連携を使った番組の再生
 - インターネットを使ったソフトウェアの更新

BD-Live接続設定

有効: BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。

有効(制限つき): 証明書を持つBD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。

無効: BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。

タイムシフトマシン設定

タイムシフトマシン連携

タイムシフトマシン連携機能を利用するかどうかの設定をします。

利用する / 利用しない

連携機器

タイムシフトマシン連携機能で登録しているタイムシフトマシン対応機器またはざんまいプレイ配信機器の確認及び変更をします。

連携機器の更新

切: 過去番組表、ざんまいプレイリストを自動的に更新しません。

30分: 過去番組表、ざんまいプレイリストが30分毎に自動的に更新されます。

60分: 過去番組表、ざんまいプレイリストが60分毎に自動的に更新されます。

- ディスク再生中の場合や、USB/ホームネットワークでファイルを再生中、過去番組を再生、ざんまいプレイの番組を再生中は自動更新されません。

HDMI設定

レグザリンク・コントローラ

当社のレグザリンク対応テレビでレグザリンク機能を使うかどうかの設定をします。

入 / 切

解像度設定

自動: 接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。

480p: 480プログレッシブで出力します。

720p: 720プログレッシブで出力します。

1080i: 1080インターレースで出力します。

1080p: 1080プログレッシブで出力します。

1080p/24: 1080プログレッシブ24フレームで出力します。

ディープカラー

自動: 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。

切: HDMI端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

音声出力設定

音声の出力方法を設定します。

ビットストリーム: 接続している機器が以下に対応している場合、各音声をビットストリームで出力します。

- ドルビーデジタル
- ドルビーデジタルプラス
- ドルビー TrueHD
- DTS
- DTS-HD

LPCM: 上記の音声をLPCMに変換して出力します。

いろいろな設定を変える・つづき

()はお買い上げ時の設定です。

再生設定

音声言語

再生時の音声言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」**55**を参考に、言語コードを入力してください。

オリジナル/日本語/英語/その他の言語

字幕言語

再生時の字幕言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」**55**を参考に、言語コードを入力してください。

切/日本語/英語/その他の言語

メニュー言語

再生時のディスクメニューの言語を設定します。

【その他の言語】を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」**55**を参考に、言語コードを入力してください。

日本語/英語/その他の言語

BD視聴制限レベル

無制限: 制限なく、全てのディスクが視聴できます。

視聴可能年齢設定: 年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢制限を超える番組は視聴することができなくなります。

DVD視聴制限レベル

無制限: 制限なく、全てのディスクが視聴できます。

レベル8: 年齢に関係なく視聴できます。

レベル7: 18歳未満の方は視聴できません。

レベル6: 18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。

レベル5: 保護者同伴での視聴を推奨します。

レベル4: 13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。

レベル3: 保護者の方の判断による視聴を推奨します。

レベル2: 一般的に視聴できる内容です。

レベル1: お子様が見ても問題のない内容です。

アングル表示

【入】に設定しておくで、再生中にカメラアングルが切り換え可能な場面で、画面に  を表示します。

入/切

その他設定

ソフトウェア更新

ディスク: 将来の機能拡張用のため、現在は使用できません。

ネットワーク: インターネットに接続してソフトウェアを更新します。

USB: 将来の機能拡張用のため、現在は使用できません。

ソフトウェア更新確認

入: 本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。

切: 最新のソフトウェアがあるかどうかの確認を行いません。

高速起動モード

入: 高速で起動しますが、【切】時に比べて待機時の消費電力が増えます。

切: 起動するのに時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

- 【連携機器の更新】を【30分】または【60分】に設定しているときに、【高速起動モード】を【切】に設定すると、【連携機器の更新】が自動的に【切】に設定されます。

未使用時自動電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないときに、節電のために約25分後に自動的に電源を切るかどうかの設定します。

入/切

テレビ画面保護

再生停止中など何も操作をしない状態が約5分つづくと、自動的にスクリーンセーバーが働きます。

入/切

パスワード変更

パスワードを変更します。

- 詳しくは、**42**をご覧ください。

バージョン情報

現在のソフトウェアのバージョンを表示します。

初期化

各種設定を初期化します。

- 詳しくは、**40**をご覧ください。

ライセンス情報

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

本機の機能について

メディアやフォーマット

ブルーレイディスクやDVD、CD、USB機器など様々なメディアを再生することができます。

AVCHD対応

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどで記録されたAVCHD方式のハイビジョン画質の動画を再生することができます。

JPEG対応

デジタルビデオカメラなどで記録されたJPEG方式の写真や絵を再生することができます。

ブルーレイディスク

DVD約5枚分の大容量記録媒体のブルーレイディスクを再生することができます。

BD-Java対応

Javaアプリケーションを含むBD-Videoでは本編の視聴に加えて、ゲームや対話型コンテンツなど、双方向な機能を楽しむことができます。

PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応

PIP機能に対応したBD-Videoでは本編の映像に加えて、子画面の映像を楽しむことができます。追加コンテンツをUSB機器に保存すると、より多くの再生機能を楽しむことができます。

BD-Live™対応

BD-Live™機能付きのBD-Videoでは本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。追加コンテンツをUSB機器に保存すると、より多くの再生機能を楽しむことができます。

1080プログレッシブ24フレーム

本機と1080プログレッシブ24フレームに対応しているテレビを接続すると、ブルーレイディスクを再生するときに高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。

ポップアップメニュー

ポップアップメニューが含まれたBD-Videoでは、再生中に様々な操作ができます。(ポップアップメニューの内容は、ディスクによって異なります。)

HDMI接続

HDMIケーブルを使うと、テレビとかんたんに接続することができます。また、高解像度の映像を楽しむことができます。

HDMIディープカラー

本機とHDMIディープカラーに対応しているテレビを接続すると、再生映像の色深度(ディープカラー)を拡張して、より自然に近い色を再現することができます。

レグザリンク・コントローラ

本機と当社のレグザリンク対応のREGZAシリーズ機種種のテレビの動作を連動させることができます。

ネットワーク

本機をネットワークに接続すると、様々な機能を楽しむことができます。

DLNA対応

ホームネットワークに接続して、他機からの映像や写真、絵などを再生することができます。

タイムシフトマシン連携機能

ホームネットワークに接続して、当社のタイムシフトマシン対応機器のタイムシフトマシン機能で録画された番組や、当社のざんまいプレイ配信対応機器のざんまいプレイリストの番組を、本機で視聴することができます。

その他の機能

x.v.Color対応

x.v.Colorで撮影された映像を再生するときに、より天然に近い広色域の映像を楽しむことができます。

マルチチャンネルサラウンド音声

本機では、より現実に近い音声を楽しめるマルチチャンネルサラウンド音声出力に対応しています。

1080アップスケーリング

DVDを再生するときにアップコンバート機能によって、標準画質を最大1080pまでアップスケールして高詳細化をすることができます。

症状に合わせて解決法を調べる

おかしいな?と思ったときの調べかた

あれ?おかしいな?と思ったときは、修理を依頼される前に以下についてお調べください。

- 本機に接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

こんなときは	ここをお調べください	ページ	
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグが正しく差し込まれているかご確認ください。 ● 電源プラグを別のコンセントに差し込んでください。 ● 電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 	9
	本機のボタンで操作できない、または本機が反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の  を10秒以上長押しして本機をリセットするか、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 	—
	リモコンを操作しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンを本機のリモコン受光部に近づけて操作してください。 ● 本機の電源が入っているかご確認ください。 ● リモコンの電池の向き(⊕と⊖)が正しく入っているかご確認ください。 	10
再生	映像が映らない、または音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とテレビの電源が入っているかご確認ください。 ● 本機と接続している機器の接続をご確認ください。 ● テレビがHDCPIに対応しているかご確認ください。(HDCPIに対応していない場合、正常に映像が出力されません。) ● ディスクが入っていない状態で、リモコンの  を5秒間長押ししてください。(【HDMI設定】の【解像度設定】を初期値に戻すことができます。) ● HDMIケーブルにHDMIロゴの表示があるかご確認ください。(HDMIロゴの表示がないケーブルで接続すると映像や音声が正しく出力されません。) ● 本機と接続している機器の電源を入れたまま、HDMIケーブルを抜き差ししてください。 	11 9
	映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● ほかのHDMIケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。 	—
	ハイビジョン画質で見ることができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイビジョンで記録された映像がご確認ください。(ハイビジョンで記録された映像のみ、ハイビジョン画質で見ることができます。) ● 本機と接続しているテレビがハイビジョンに対応しているかご確認ください。(ハイビジョンに対応したテレビでのみ、ハイビジョン画質で見ることができます。) 	—
	音声がでない、または途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に接続している機器の音量を調節してください。 ● 本機に接続している機器が正しく接続されているかご確認ください。 	9
	 が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中のコンテンツで禁止されている操作です。 	—
	アングルを切り換えることができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数のアングルが記録されたディスク以外は、アングルを切り換えることができません。(特定の場面でのみ複数のアングルが記録されたディスクもあります。) 	—
	タイトルを選んでも再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 視聴制限が設定されていないかご確認ください。 	41
AVCHD方式の動画が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● AVCHDファイルが正しくコピーされているかご確認ください。本機はDVDに記録されたAVCHDファイル(「～.m2ts」や「～.mts」、「～.m2t」)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様にそった構造にしてください。AVCHDファイルをDVDやSDカードなどに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。) 	—	
JPEGファイルが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大ファイル数を超過していないかご確認ください。 ● JPEGファイルの拡張子が以下になっているかご確認ください。 .jpg / .JPG / .jpeg / .JPEG 	44	
AVアンプから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● AVアンプの電源が入っているかご確認ください。 ● AVアンプの出力が正しいかご確認ください。(詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。) 	—	
	<ul style="list-style-type: none"> ● AVアンプがビットストリームまたはLPCMに対応しているかご確認ください。(詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。) ● 対応している場合は、本機の【本体設定】→【HDMI設定】→【音声出力設定】を設定してください。 	47	
	<ul style="list-style-type: none"> ● AVアンプの音量を調節してください。 	—	

こんなときは	ここをお調べください	ページ
ディスクの再生中に映像が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが指紋などで汚れていないか、または傷がないかご確認ください。 	56
ディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応しているディスクかご確認ください。(DVDの場合、ファイナライズされているかご確認ください。) 	44
	<ul style="list-style-type: none"> 本機のソフトウェアを更新してください。(発売して間もないディスクの場合、ソフトウェアを更新すると再生できることがあります。) 	43
ディスクの写真や絵が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクがUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるかご確認ください。 	44
ディスクを取り出しても通常の画面に戻らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、約30秒後にもう一度電源を入れてください。 	—
再生中に操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクによっては、禁止されている操作があります。(ディスクの取扱説明書をご覧ください。) 	—
ディスクの読み込みができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応しているディスクかご確認ください。 	44
	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの汚れをふきとってください。 	56
BD-Live™機能が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを再生する前に、USBメモリーを接続してください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリーの空き容量が1GB以上あるかご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリーを正しく接続しているかご確認ください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANでネットワーク接続しているときは、LANケーブルを使ってネットワークを接続・設定してください。(無線LANアダプター(別売)とUSBメモリーを同時に使うことはできません。) 	26 28
	<ul style="list-style-type: none"> 【インターネット接続制限】が【制限しない】になっているかご確認ください。 	41
	<ul style="list-style-type: none"> 【BD-Live接続制限】が【有効】または【有効(制限つき)】になっているかご確認ください。 	41
ブルーレイディスクの読み込みができなくなり、ディスクトレイから取り出すことができない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜いて、約20秒後にもう一度電源プラグをコンセントに差し込んでください。そのあとに  を押し、ディスクトレイからディスクを取り出してください。 	—
USB機器の残り容量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> バーチャルパッケージ対応のBD-Videoを再生すると、バーチャルパッケージがUSB機器に保存されることがあります。 	35
USB機器のMPEG-2形式の動画が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機は、MPEG-2形式の動画に対応していません。 	—
USB機器の読み込みができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応していないUSB機器が接続されています。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> USB機器に保存されているデータが破損しています。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の  を10秒以上長押しして本機をリセットするか、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応しているフォーマットかご確認ください。 	44

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

こんなときは	ここをお調べください	ページ
ネットワークに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> モデムやルーターの電源が入っているかご確認ください。 モデムやルーターのインターネットランプが点灯しているかご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 本機のネットワーク設定をご確認ください。 	28
	<ul style="list-style-type: none"> 本機とルーターが正しく接続できているかご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ルーターのDHCP機能を「入」に設定してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ルーターのリダイレクト機能を無効にして【接続テスト】を行ってください。(リダイレクト機能が有効の場合、【接続テスト】の結果が【インターネット:成功】となります。) 	—
【接続テスト】が【インターネット:成功】になっても、インターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ルーターのリダイレクト機能を無効にして【接続テスト】を行ってください。(リダイレクト機能が有効の場合、【接続テスト】の結果が【インターネット:成功】となります。) 	—
【かんたん接続設定(WPS)】で無線LANのアクセスポイントを設定できない	<ul style="list-style-type: none"> 【無線LAN自動検出】または【手動設定】で無線LANのアクセスポイントを設定してください。 	32 33
	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定を「TKIP」または「AES」に変更してから、もう一度【かんたん接続設定(WPS)】を設定してください。(セキュリティ設定の変更方法は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。) 	33
	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANの接続や設定が終わっても、本機で設定が完了するまで約30秒ほどかかります。(スタートメニュー画面でWi-Fiが表示されたら、本機で無線LAN接続の設定が完了になります。) 	—
パソコンでネットワーク接続中に、本機でネットワーク接続ができない	<ul style="list-style-type: none"> 複数の機器から同時にネットワーク接続ができるかどうか、インターネットサービスプロバイダーにご確認ください。 	—
ホームネットワークで配信されているファイルやフォルダが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ホームネットワークの接続・設定が正しくできているかご確認ください。 ネットワークが正しく接続・設定できているかご確認ください。 	26 28
ホームネットワークで配信されたコンテンツの再生が止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANアクセスポイントを、5GHz帯に設定してください。(2.4GHz帯の設定では、再生時に映像が止まったりすることがあります。) 	—
タイムシフトマシン連携	<ul style="list-style-type: none"> 【タイムシフトマシン連携】設定が【利用する】になっているかご確認ください。 	47
	<ul style="list-style-type: none"> タイムシフトマシン対応機器、ざんまいプレイ配信対応機器は、同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一ホームネットワークに接続してください。 	26
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークが正しく接続・設定できているかご確認ください。 	26 28
	<ul style="list-style-type: none"> 他のメディアの再生中は、過去番組、ざんまいプレイリストの番組は再生できません。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> タイムシフトマシン対応機器、ざんまいプレイ配信対応機器の状態によっては、再生することができません。接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> タイムシフトマシン対応機器、ざんまいプレイ配信対応機器側の電源が入っているかご確認ください。(電源が入っていないと、本機での過去番組表、ざんまいプレイリストが表示されないことがあります。) 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 【連携機器】で登録しようとしている機器が、タイムシフトマシン機能、ざんまいプレイ配信機能に対応しているかご確認ください。 タイムシフトマシン対応機器、ざんまいプレイ配信対応機器側の設定内容を見直してください。設定によっては、本機で登録できない場合があります。 	—
過去番組の再生やざんまいプレイの番組の再生が止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> 無線LANで接続している場合、ネットワークの通信状態により、再生時に映像や音声の再生が止まったりすることがあります。その場合、有線LANでの接続をおすすめします。 	26 28

ネットワーク

タイムシフトマシン連携

さまざまな設定や情報

こんなときは	ここをお調べください	ページ
パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> パスワードを「4、7、3、7」と入力してください。そのあとに、新しいパスワードを設定してください。 	42
【ソフトウェアの更新に失敗しました。】とメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークが正しく接続・設定できているかご確認ください。 	26 28
ソフトウェアの更新に何度も失敗し、本機が正常に起動しない	<ul style="list-style-type: none"> 本機内部で異常が発生している可能性があります。「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。 	裏表紙
デジタル音声出力を利用したい	<ul style="list-style-type: none"> 本機にはデジタル音声出力用の光端子や同軸端子はありませんので、HDMIでの接続を行ってください。 	—

音声出力について

再生するメディアや本機に接続している機器によって、音声出力が異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

メディア		音声出力方式	ビットストリーム	LPCM
ブルーレイディスク	BD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス (ドルビーデジタル※ ¹)	マルチLPCM
		ドルビー TrueHD	ドルビー TrueHD (ドルビーデジタル※ ¹)	マルチLPCM
		DTS	DTS	2ch LPCM
		DTS-HD	DTS-HD (DTS※ ¹)	2ch LPCM
		LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM
	BDAV	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		AAC	AAC	
		LPCM	マルチLPCM	
DVD	DVD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		DTS	DTS	2ch LPCM
		LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
	AVCREC™方式	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		LPCM	2ch LPCM	
		AAC※ ²	AAC	
	VR方式	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
CD	音楽用CD	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
	DTS方式	DTS	DTS	2ch LPCM
ディスク SDカード	AVCHD方式	ドルビーデジタル LPCM	ドルビーデジタル マルチLPCM	マルチLPCM
ホームネットワーク	映像	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		MP2	2ch LPCM	
		LPCM	マルチLPCM	
		AAC (MPEG2)	AAC	
	音楽	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
		AAC	AAC※ ³	マルチLPCM
タイムシフト過去番組 ざんまいプレイ	映像	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM
		MP2	2ch LPCM	
		LPCM	マルチLPCM	
		AAC (MPEG2)	AAC	

※¹ 【BD-HD音声設定】を【複合音声】に設定して、インタラクティブ音声やセカンダリ音声を含むBD-Videoを再生したとき。

※² デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。

※³ ヘッダ情報にAACの情報がある場合はAACで出力します。AACヘッダ情報が無い場合はPCMで出力します。



- 本機と接続している機器が以下の場合、音声はLPCMで出力されます。
 - ・ビットストリームに対応していない
 - ・AACに対応していない
- プライマリ音声のみが記録されたBD-Videoを再生すると、【BD-HD音声設定】を【複合音声】に設定していても【HD音声】として再生します。

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	iv	5668

言語名	画面上の表示	言語コード
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565

言語名	画面上の表示	言語コード
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクドライブについての重要なお願い

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間で使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

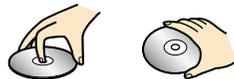
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機の汚れは柔らかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞った後に拭き取ります。中性洗剤を使って拭いた後は、温水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本機に水が入らないように、十分注意してください。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたりしたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置いたりすると、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください

- ディスク自体の破損や本機の故障の原因となります。
 - ・ 傷が付いているディスク。
 - ・ ラベルやシールが貼られているディスク。
 - ・ ラベルがはがれているディスク。
 - ・ のりがはみ出しているディスク。
 - ・ ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
 - ・ 六角形など、特殊な形状のディスク。

8cm盤のディスクを使用するときは

- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cmアダプターなしで使用できます。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。または、ディスクトレイ上から押し下り、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販のBD/DVD-Videoの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に【】が表示されることがあります。【】が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をさせていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- 本機をインターネットに接続して【ソフトウェア更新確認】を【入】に設定しておく、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。**48** (お買い上げ時は、【切】に設定されています。)
- ソフトウェアの更新については、「ソフトウェアを更新する」**43** をご覧ください。ソフトウェアの更新中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

HDMI連動機能(レグザリンク機能)について

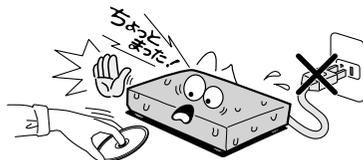
- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証いたしません。

インターネット機能について

- インターネットの利用には、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者(プロバイダー)との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

結露(露付き)について

- “結露(露付き)”がおきたとき、またはおきそうなときは本機のご使用を直ちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。“結露(露付き)”がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。



- “結露(露付き)”とは、例えば、よく冷えたビールをコップについだときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



- “結露(露付き)”は本機が下記の状態のときにおきやすくなります。
 - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
 - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



使用上のお願い・つづき

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、以下の初期化を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。
 - 個人情報初期化 **40頁**
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。

著作権について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、BD-Live™、BONUSVIEW™、AVCREC™ 及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “DLNA” および “DLNA” ロゴや “DLNA CERTIFIED” は登録商標です。Digital Living Network Allianceは、デジタルリビングネットワークアライアンスのサービスマークです。

- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画を記録する場合
- 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- Cinavia™

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2015 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機は、米国「Free Software Foundation, Inc.」が定めたGNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2及びGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。)に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照してください。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、

スタートメニュー画面の【本体設定】➡【その他設定】➡【ライセンス情報】に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。(東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を掲載いたします。)

当該ソフトウェアモジュールについては、東芝以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証(明示するもの、しないものを問いません。)をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害(データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。)についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
linux module-init-tools mount nettools sash sysfsutils GMP autofs	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL)
directfb glibc	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL)

仕様

一般

形名	DBP-S600
信号方式	NTSC方式
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
待機時消費電力	0.3W*(高速起動モード【切】時)
許容動作温度	5℃～40℃
許容湿度	80%最大(結露なきこと)
外形寸法	280(幅)×41(高さ)×197(奥行)mm(突起部含む) 280(幅)×41(高さ)×196(奥行)mm(突起部含まず)
質量	約1.0kg

* 高速起動モード【入】設定にすると待機時の消費電力は増えます。

端子

HDMI出力	Type A端子(19ピン) 1系統
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
USB端子	USB 1.1、USB 2.0準拠 TypeA DC 5V 最大 500mA

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

総合さくいん・用語解説

数字・アルファベット順

BD-J

BD-VideoにはJavaアプリケーション(これをBD-Jと呼びます)を含むものがあり、通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)

ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。

この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能になり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Digital Plus(ドルビーデジタルプラス)

Dolby TrueHD(ドルビートゥルーエイチディー)

Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。

Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスター音声データを高品位で再生する音声方式です。

両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

DTS®

DTS社が開発したデジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®

DTS®をさらに高音質、高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略称です。ブルーレイディスクプレーヤーやDVDプレーヤーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

HDMI CEC(エイチディーエムアイシーイーシー)

HDMI CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動操作を可能にした業界標準規格です。

JPEG

Joint Photographic Experts Groupの略称です。静止画像データの圧縮方式の1つです。

画質を低下させずにファイル容量を小さくすることができます。デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

SDカード

SDカードについて	45
再生	19

USB機器

USB機器	45
再生	21

XDE

25

あ

頭出し

サーチ	23
スキップ	22

アフターサービス

63

アングル

25

音楽用CD

44

か

結露(露付き)

57

言語コード

55

さ

再生

一時停止	22
コマ送り	22
スロー再生	22
早送り/早戻し	22
リピート再生	23

最大ファイル数/最大フォルダ数

44

視聴制限

41

字幕

24

初期化(フォーマット)

40

スタートメニュー

17

スチルモード

46

セカンダリ音声

24

接続

AVアンプ	9
USB機器	16
テレビ	9
ネットワーク	26

総合さくいん・用語解説・つづき

た

タイトル	45
タイムシフト過去番組表	36
チャプター	45
ディスクメニュー	18
トラック	45

な

ノイズリダクション	25
-----------	----

は

バーチャルパッケージ

一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャルパッケージと呼んでいます。

データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

はじめての設定	12
ファイル	45
フォルダ	45
付属品	3
ポップアップメニュー	18
本機	
前面	8
背面	8
本体設定	
項目	46
設定	46

ま

マルチボーダー(マルチセッション)

データの開始と終わりを表すデータ部分のことを「ボーダー(セッション)」と呼びます。マルチボーダーとは、1枚のディスクに追記などによって、データの開始と終わりを表すボーダー(セッション)が複数ある状態を言います。

未使用時自動電源オフ	48
------------	----

ら

リモコン	
電池	10
ボタン	8

リージョンコード

BD-VideoやDVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号(これをリージョンコードといいます)が分けられています。日本の場合、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけを再生することができます。

レグザリンク・コントローラ	39, 47
---------------	--------

レジューム	19
-------	----

レターボックス

標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向に画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつかます。

保証書(別添) 補修用性能部品について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのおと、たいせつに保管してください。
- 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される時は～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	ブルーレイディスクプレーヤー
形名	DBP-S600
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ	
お買い上げ店名	☎() -

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

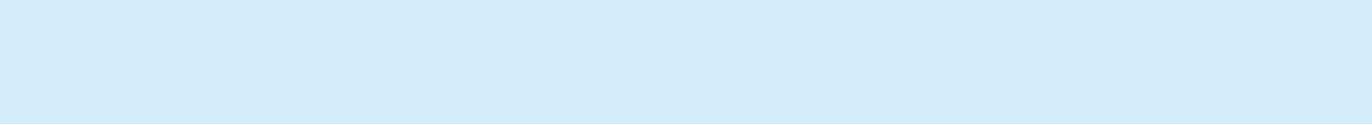
商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。

- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

メモ

メモ



メモ

商品のお問い合わせに関して

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

レグザブルーレイ／レグザタイムシフトマシンのホームページから
サポートページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/



商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からの
ご利用は）

フリーダイヤル
（通話料：無料）

0120-96-3755

（携帯電話からの
ご利用は）

ナビダイヤル
（通話料：有料）

0570-00-3755

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確か
めのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

（PHS や IP 電話
からのご利用は）

（通話料：有料）

03-6830-1855

※ フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話で
はご利用になれません。

（ FAX ）

（有料）

03-3258-0470

- ・「東芝 DVD インフォメーションセンター」は東芝映像ソリューション株式会社が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、当社の「個人情報保護規程」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤー
の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、
故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- ・再生しても音や映像が出ない。
- ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
- ・水や異物がはいった。
- ・ディスクが傷ついたり、取り出しができない。
- ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

©2018 Toshiba Visual Solutions Corporation

無断複製および転載を禁ず

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。